

景気動向調査結果

(令和5年1月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、令和 5 年 1 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、令和 5 年 2 月にヒアリング又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、440 社（製造業 235 社（うちヒアリング 64 社）、非製造業 205 社）で、回答率は 62.9 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2925）

非製造業について

長野県産業労働部経営・創業支援課（TEL 026-232-0111 内線 2961）

令和5年1月の景気動向

1 総論

長野県経済は、エネルギー・原材料価格高騰等の影響により厳しい状況が続き、回復に向けた動きに一服感がみられます。先行きについては、これらの影響に加え、原材料の価格高騰等の継続や供給不安、円安の進展の長期化等が懸念されます。

製造業の業況は、継続するエネルギー・原材料価格の高騰や供給制約の他、円安の影響が顕在化し、電機・電子、機械及び精密などで先行き不透明感が依然として強まっていることから、製造業全体では3期連続でマイナス水準となりました。

非製造業の業況は、建設業は工事受注の回復により前回より改善したものの、飲食業や宿泊業は食材仕入価格や水道光熱費の高騰により悪化し、非製造業全体では2期ぶりのマイナス水準となりました。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（令和4年1月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は▲27.9となり、前回調査時（令和4年10月）の▲7.8から20.1ポイント悪化し、3期連続のマイナス水準となりました。

3か月前（令和4年10月）と比較したD Iは▲39.2となり、前回調査時の▲9.5より29.7ポイント悪化し、5期連続のマイナス水準となりました。

また、3か月後（令和5年4月）の予想では、D Iは▲16.1となり、4期連続のマイナス水準となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコンは、法人向け需要及び個人の在宅需要が牽引し、受注、生産が堅調に推移しています。一方、プリンターについては先行き不透明感が強まっています。半導体関連は、主に自動車市場やサーバ向けが引き続き牽引し、受注、生産ともに増加傾向にあります。抵抗器・コンデンサ等は、中国での需要減退等に伴い、先行き不透明な状況が続いています。

イ 一般機械では、工作機械は、半導体関連需要（パソコン、タブレット関係）の増加の影響から、国内外ともに堅調に推移しているものの、一部で部品の供給制約等の影響から減速感も出ています。建設機械では、国内向け、海外向けともに受注が好調ですが、半導体不足等による部材の供給制約により、生産は足踏みがみられます。

ウ 精密では、時計は、一部の機種で持ち直しがみられますが、総じて受注、生産ともに一服感がみられます。レンズは、光学系や医療用向けで需要が堅調に推移していますが、一部で部材の供給制約等により、生産は足踏みがみられます。圧力計は、半導体・建設機械業界からの需要が引き続き好調のため、受注、生産が伸びています。LP ガスメーターは、ガス用 IoT 関連機器が牽引し、受注、生産に持ち直しがみられます。

エ 自動車部品では、新車販売が復調傾向にあるものの、引き続き国内向け、海外向けともに、足踏みがみられます。

オ 食料品では、味そは、季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。酒類は、清酒やワインは、季節的要因により、一部で受注、生産に弱さがみられます。飲料は、菓ごもり需要の下支え等により、受注、生産に持ち直しがみられます。

(2) 受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が23.6%と前回(29.0%)より減少し、「減少」とする企業が46.8%と前回(30.7%)より増加した結果、D Iは前回より悪化し、 $\Delta 23.2$ となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が12.9%と前回(19.4%)より減少し、「減少」とする企業が45.7%と前回(28.0%)より増加した結果、D Iは前回($\Delta 8.6$)より悪化し、 $\Delta 32.8$ となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業は18.3%、「減少」とする企業が28.3%となった結果、D Iは $\Delta 10.0$ となりました。

(3) 生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が27.4%と前回(32.5%)より減少し、「減少」とする企業が44.8%と前回(32.9%)より増加した結果、D Iは前回($\Delta 0.4$)より悪化し、 $\Delta 17.4$ となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が15.7%と前回(28.0%)より減少し、「減少」とする企業が41.3%と前回(28.9%)より増加した結果、D Iは前回($\Delta 0.9$)より悪化し、 $\Delta 25.6$ となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が24.6%、「減少」とする企業が26.8%となった結果、D Iは $\Delta 2.2$ となりました。

(4) 製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が57.9%と前回(53.9%)より増加し、「安い」とする企業が4.3%と前回(5.6%)より減少した結果、D Iは前回(48.3)より改善し、53.6となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が21.6%と前回(31.8%)より減少し、「安い」とする企業が3.4%と前回(3.9%)よりやや減少した結果、D Iは前回(27.9)より悪化し、18.2となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が23.0%、「安い」とする企業が4.8%となった結果、D Iは18.2となりました。

(5) 資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が6.7%と前回(8.1%)より減少し、「苦しい」とする企業が21.5%と前回(18.6%)より増加した結果、D Iは前回($\Delta 10.5$)より悪化し、 $\Delta 14.8$ となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が4.5%と前回(5.4%)よりやや減少し、「苦しい」とする企業が17.1%と前回(15.3%)より増加した結果、D Iは前回($\Delta 9.9$)より悪化し、 $\Delta 12.6$ となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が4.1%、「苦しい」とする企業が16.7%となった結果、D Iは $\Delta 12.6$ となりました。

(6) 収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が13.8%と前回(14.3%)よりやや減少し、「低下」とする企業が56.0%と前回(56.7%)よりやや減少した結果、D Iは前回($\Delta 42.4$)よりやや改善し、 $\Delta 42.2$ となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が6.9%と前回(8.6%)より減少し、「低下」とする企業が42.9%と前回(41.4%)より増加した結果、D Iは前回($\Delta 32.8$)より悪化し、 $\Delta 36.0$ となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が6.1%、「低下」とする企業が33.5%となった結果、D Iは $\Delta 27.4$ となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコンは、法人向け需要及び個人の在宅需要が牽引し、受注、生産が堅調に推移しています。一方、プリンターについては先行き不透明感が強まっています。

(半導体関連・プリント基板) 半導体関連は、主に自動車市場やサーバ向けが引き続き牽引し、受注、生産ともに増加傾向にあります。

(抵抗器・コンデンサ等) 中国での需要減退等に伴い、先行き不透明な状況が続いています。

(モーター等) 部品の供給不足や自動車の生産調整等により、先行き不透明な状況が続いています。

(その他) 公共インフラ等は横ばいが続く一方、車載製品（カーナビやカーオーディオ）については堅調に推移しています。

一般機械

(工作機械) 半導体関連需要（パソコン、タブレット関係）の増加の影響から、国内外ともに堅調に推移しているものの、一部で部品の供給制約等の影響から減速感も出ています。

(金型) 産業用機械は好調である一方、自動車関係は伸び悩んでおり、全体的には受注、生産に一服感がみられます。

(建設機械) 国内向け、海外向けともに受注が好調ですが、半導体不足等による部材の供給制約により、生産は足踏みがみられます。

(農業用機械等) 一部で値上げ前の駆け込み需要があったことから、受注・販売量は回復がみられます。

精 密 (時 計)	一部の機種で持ち直しがみられますが、受注、生産ともに一服感がみられます。
(レ ン ズ)	光学系や医療用向けで需要が堅調に推移していますが、一部で部材の供給制約等により、生産に足踏みがみられます。
(計 器)	圧力計は、半導体・建設機械業界からの需要が引き続き好調のため、受注、生産が伸びています。LP ガスメーターは、ガス用 IoT 関連機器が牽引し、受注、生産に持ち直しがみられます。
自 動 車 部 品	新車販売が復調傾向にあるものの、引き続き国内向け、海外向けともに、足踏みがみられます。
食 料 品	
(味 そ)	味そは、季節的要因により、3 か月前と比べ受注、生産が減少しています。
(酒 類)	清酒やワインは、季節的要因により、一部で受注、生産に弱さがみられます。
(飲 料)	菓ごもり需要の下支え等により、受注、生産に持ち直しがみられます。
織 維 ・ 衣 服	季節的要因により、受注、生産に一服感がみられます。
紙 ・ パルプ	ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生産に一服感がみられます。
印 刷	印刷・製本は、需要の低迷などにより、引き続き低調に推移しています。
そ の 他	プラスチック成型部品は、産業用機械が牽引しているものの、その他で一服感がみられます。

3 非製造業

業界の業況

前年同期（令和4年1月）と比較したD Iは△6.4となり、前回調査時（令和4年10月）の0.5より6.9ポイント悪化し、2期ぶりのマイナス水準となりました。

3か月前（令和4年10月）と比較したD Iは△34.5となり、前回調査時の1.1より35.6ポイント悪化しました。

また、3か月後（令和5年4月）の予想では、D Iは△8.1となりました。

【主な業種の動き】

ア 建設業

建設業では、工事受注の回復等により客数（受注件数）D I、売上高D Iが改善したことから、業況D Iは△20.7と前回（△46.9）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、△14.8です。

イ 情報サービス業

情報サービス業では、公共関連等の受注の増加により客数（受注件数）D Iが改善したことから、業況D Iは20.0と前回（11.1）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、△12.5です。

ウ 小売業

小売業では、物価高騰に伴う消費者の慎重な姿勢から客数（取引先数）D I、売上高D Iが悪化したほか、仕入価格やエネルギーコストの高騰で収益率D Iが悪化したことから、業況D Iは△26.6と前回（△16.3）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、△18.0です。

エ 卸売業

卸売業では、一部で販売価格への転嫁が進んだことで販売価格D I、売上高D Iが改善したことから、業況D Iは16.7と前回（5.6）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、△11.8です。

オ 飲食業

飲食業では、インバウンドをはじめとする観光客等の増加により客数（来店客数）D Iは4期連続のプラス水準となったものの、食材仕入価格や水道光熱費の高騰で収益率D Iが悪化したことから、業況D Iは27.3と前回（69.6）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、30.4です。

カ 宿泊業

宿泊業では、全国旅行支援の効果やインバウンド等の増加により客数（宿泊客数）D Iは前回調査と同様に高水準が続いたものの、水道光熱費等の高騰で収益率D Iが悪化したことから、業況D Iは68.8と前回（93.8）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、18.7です。

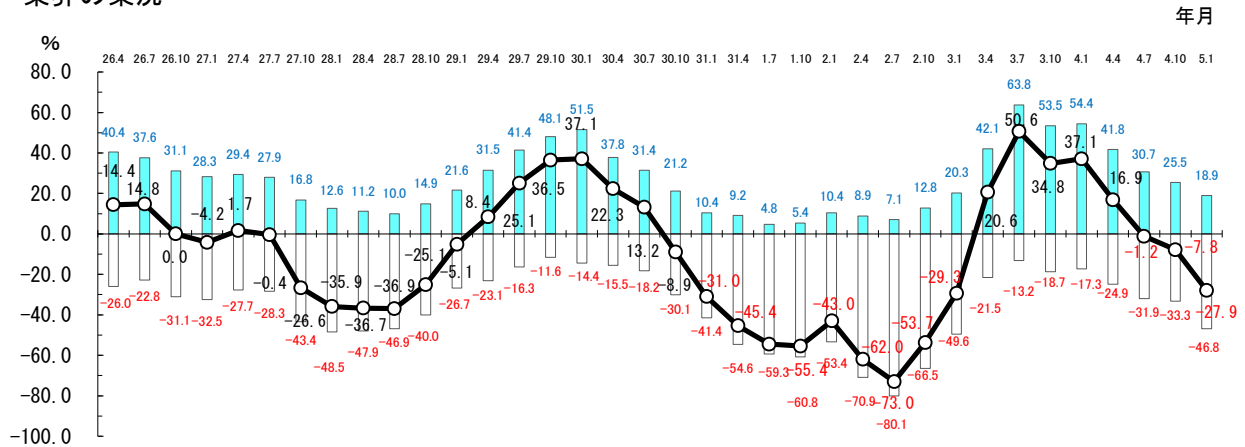
景気動向調査集計結果

(注)棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

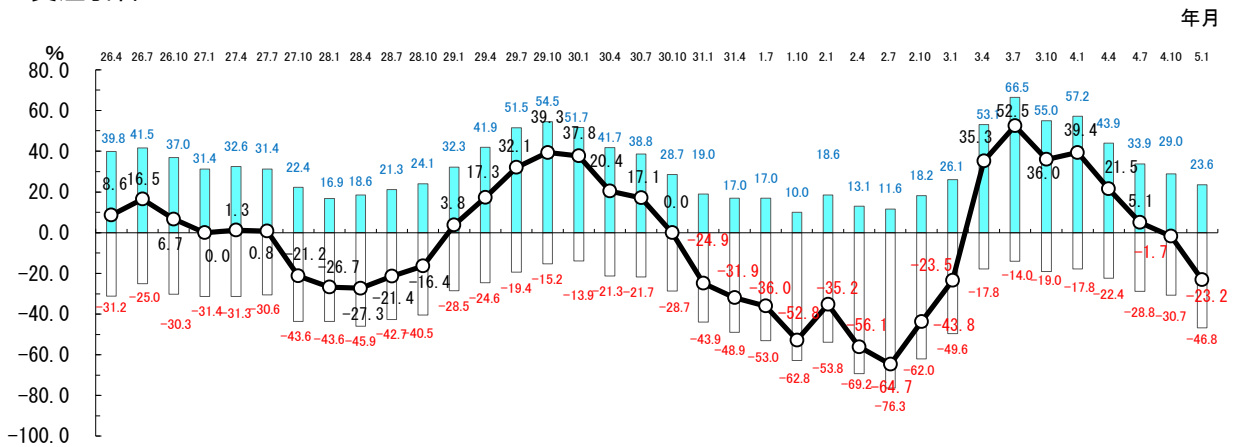
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

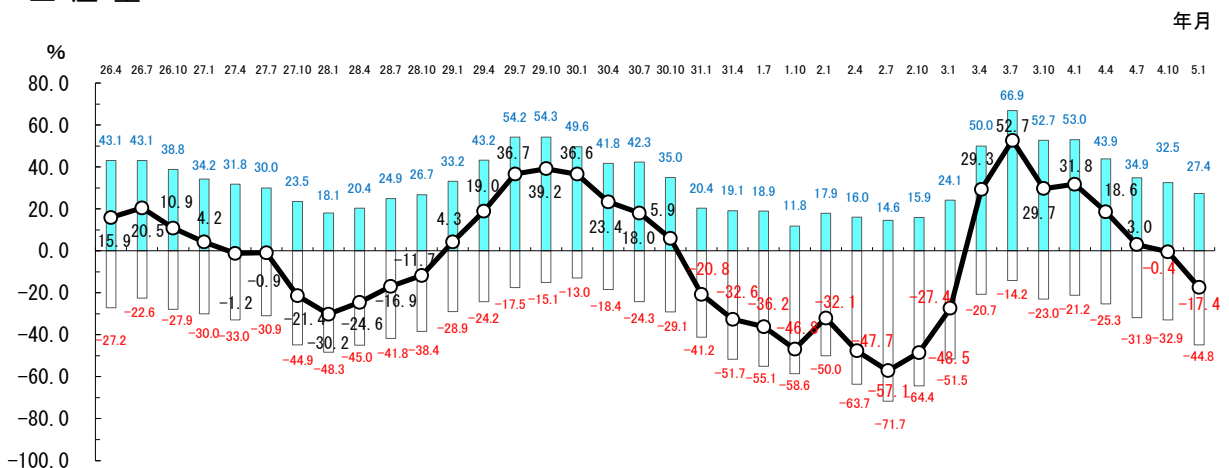
業界の業況



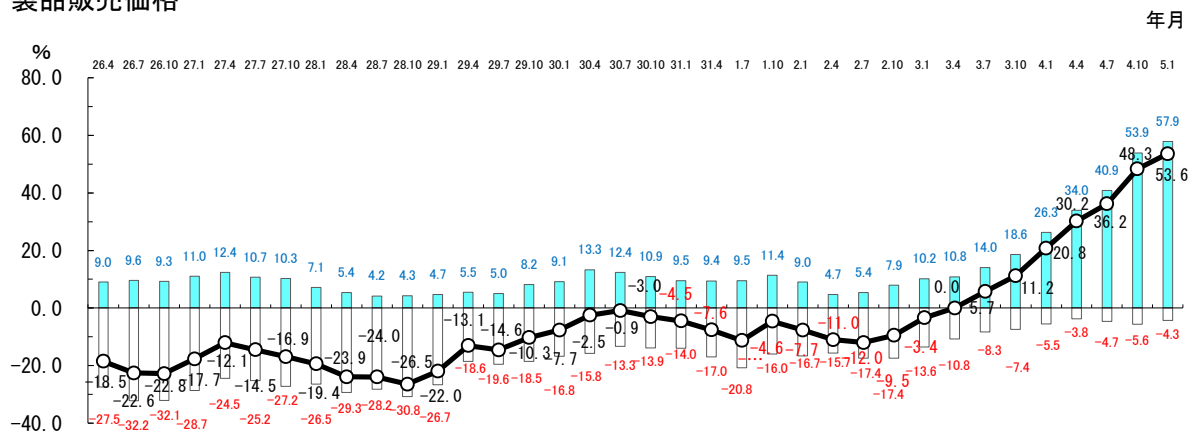
受注引合



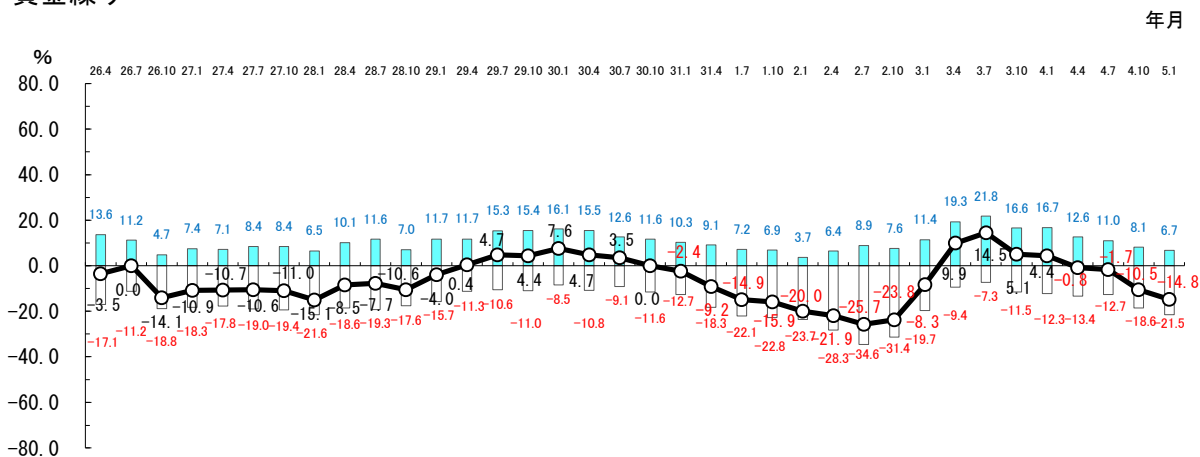
生産量



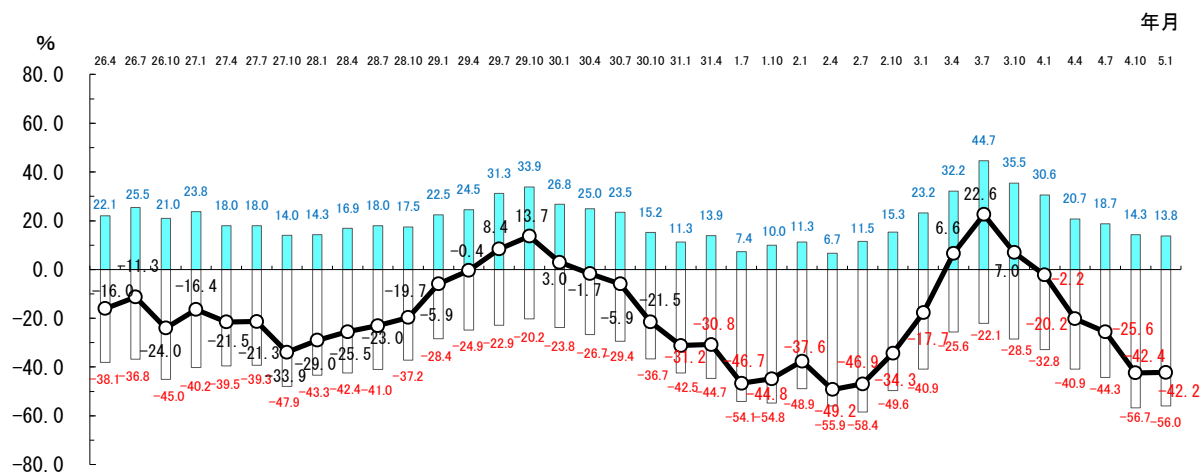
製品販売価格



資金繰り

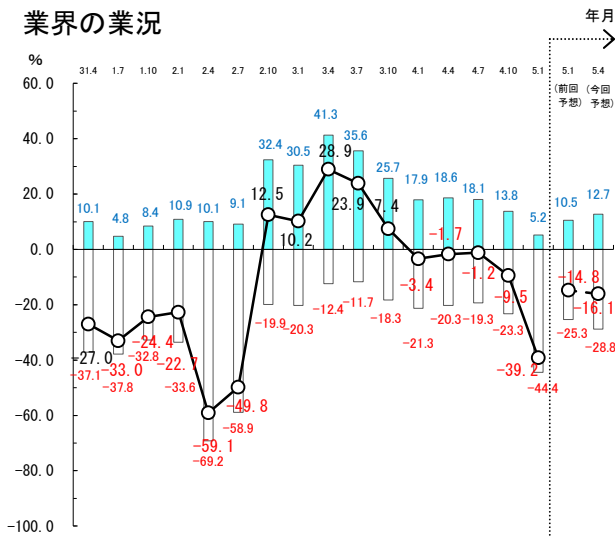


収益率

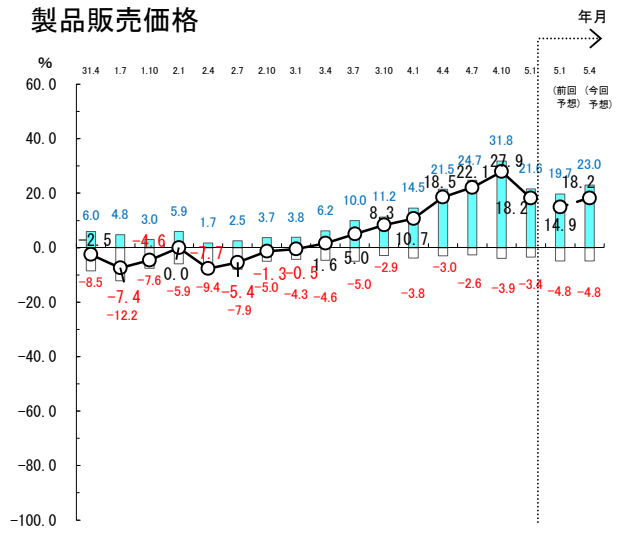


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

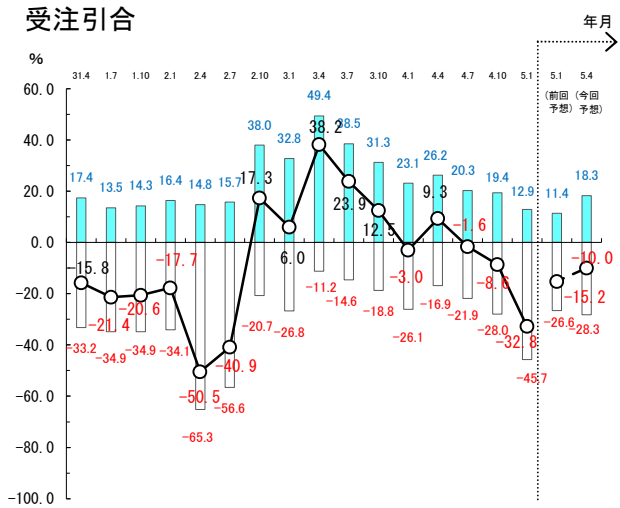
業界の業況



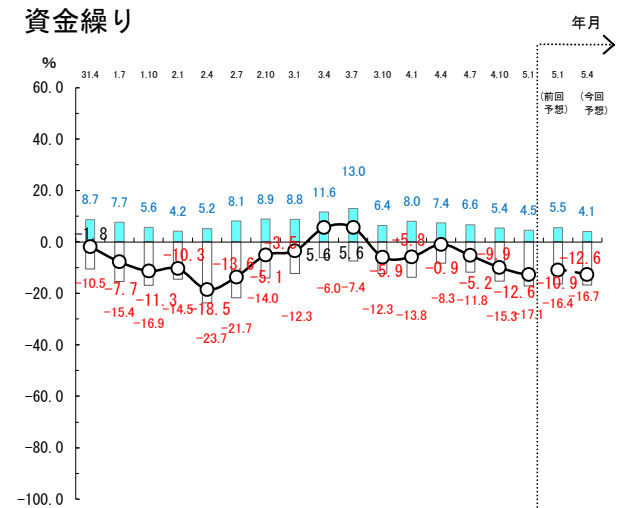
製品販売価格



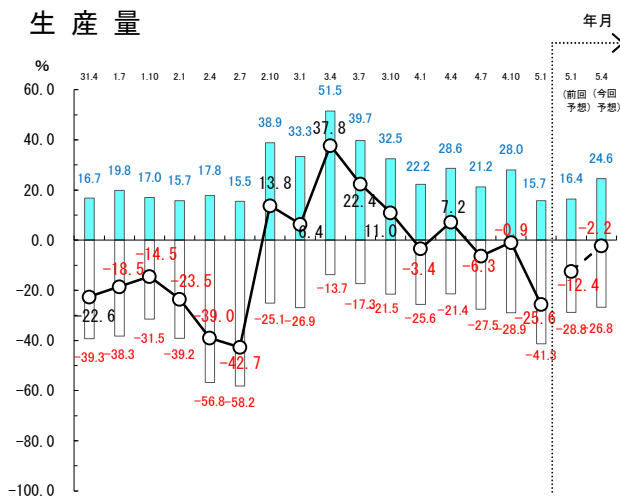
受注引合



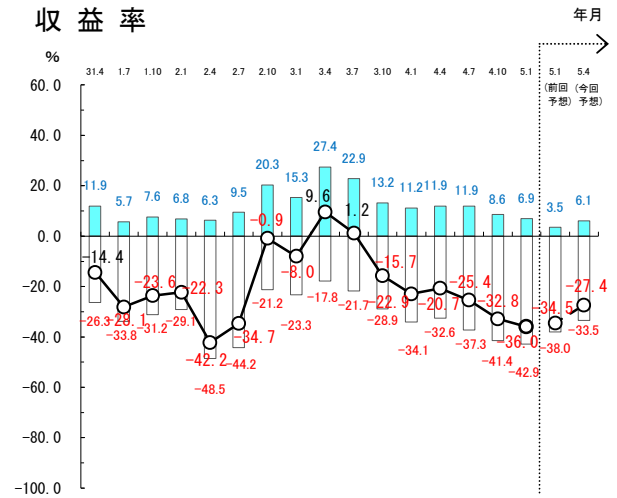
資金繰り



生産量



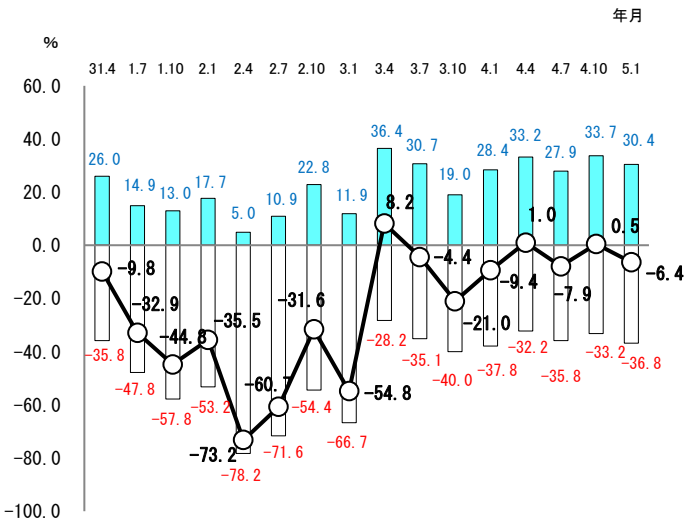
収益率



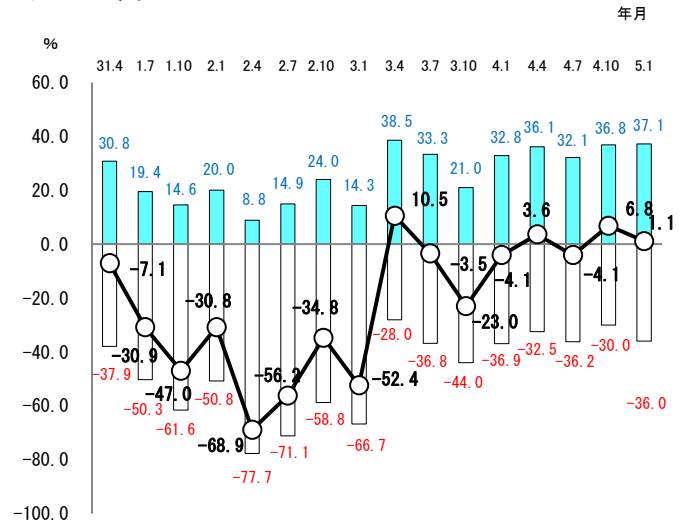
2 非製造業

(1) 前年同期に比べて

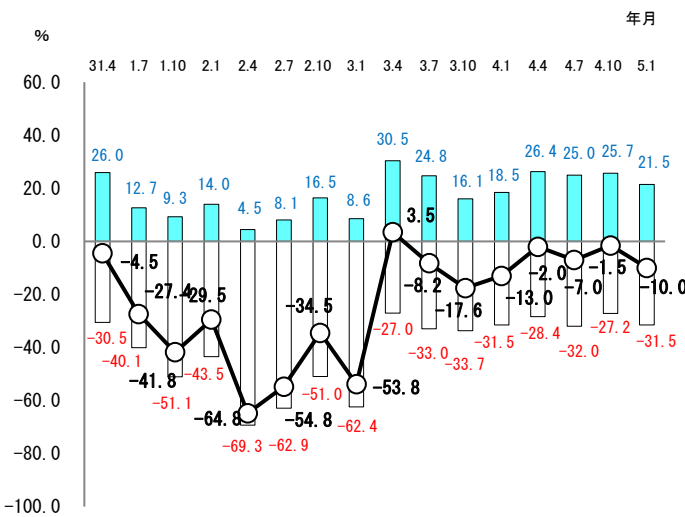
業況



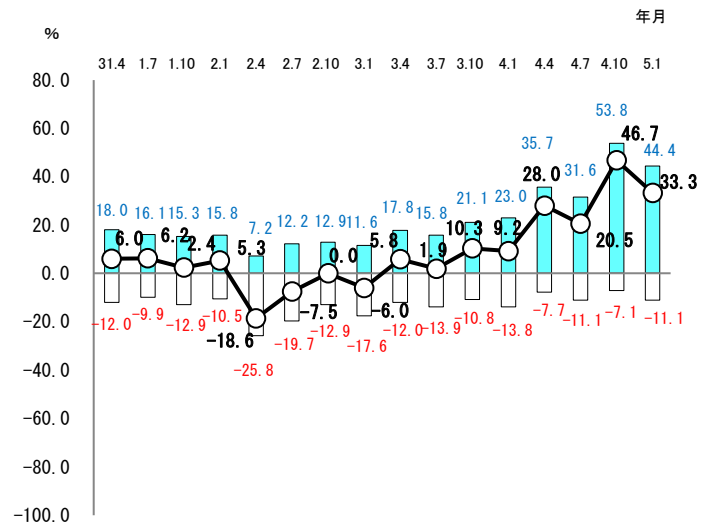
売上高



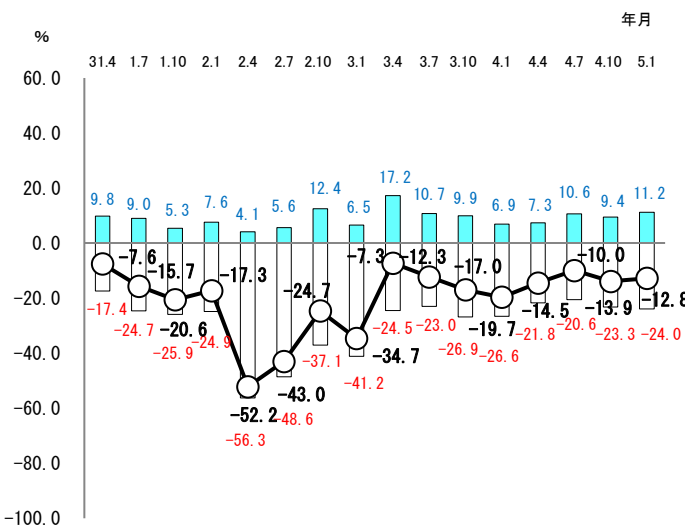
客数 (受注件数・取引先数)



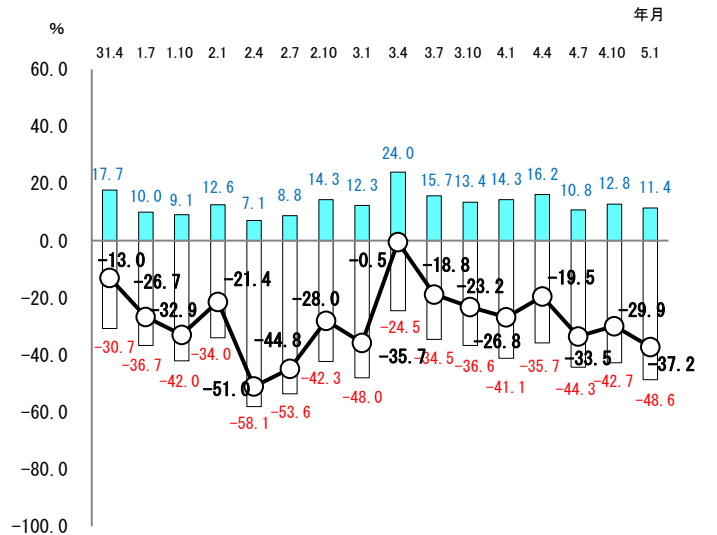
販売価格



資金繰り

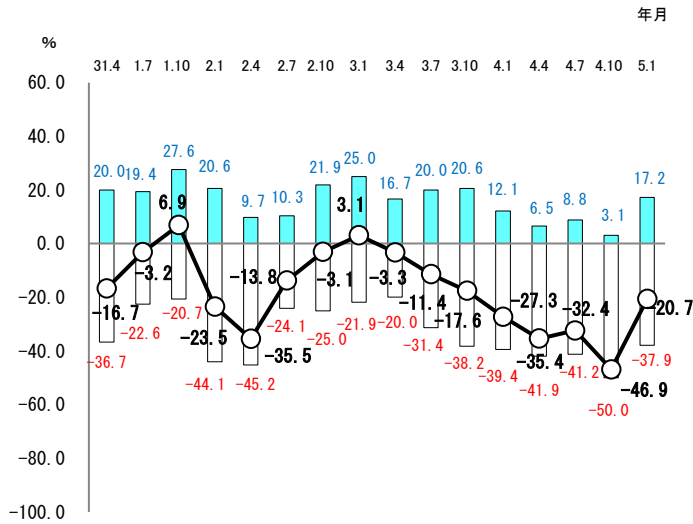


収益率

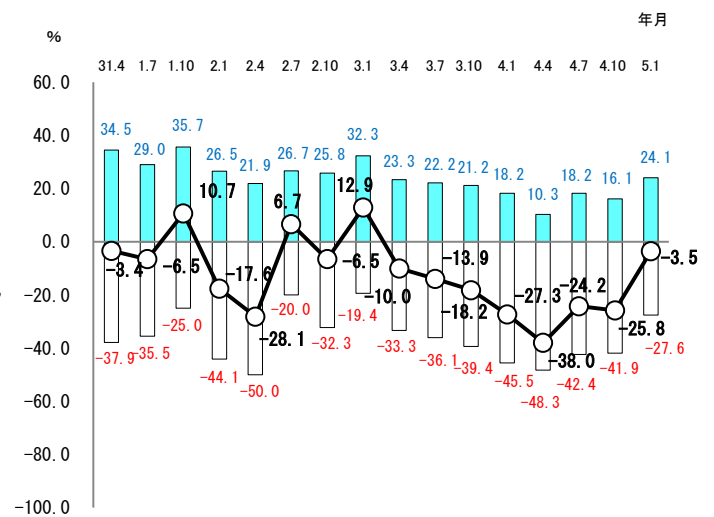


ア 建設業

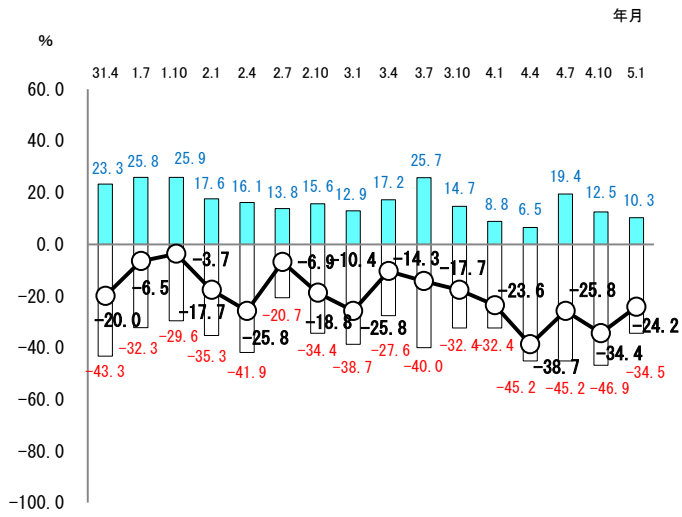
業況



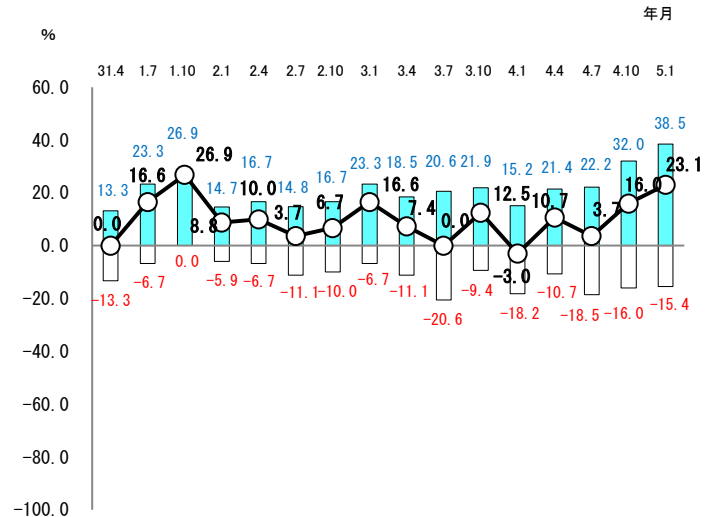
売上高



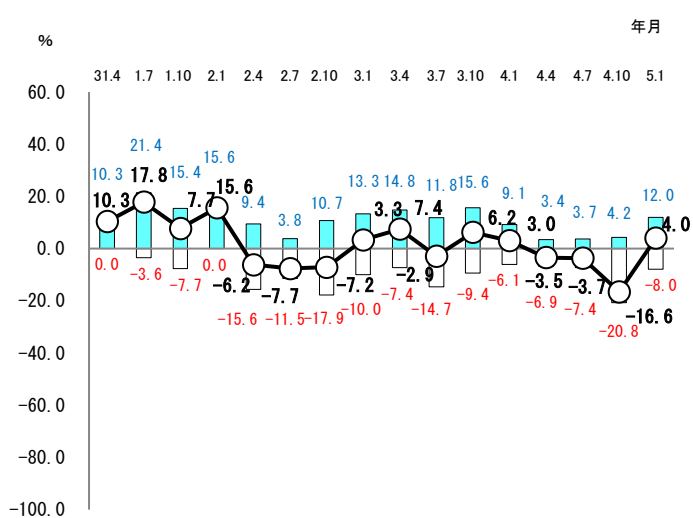
客数 (受注件数)



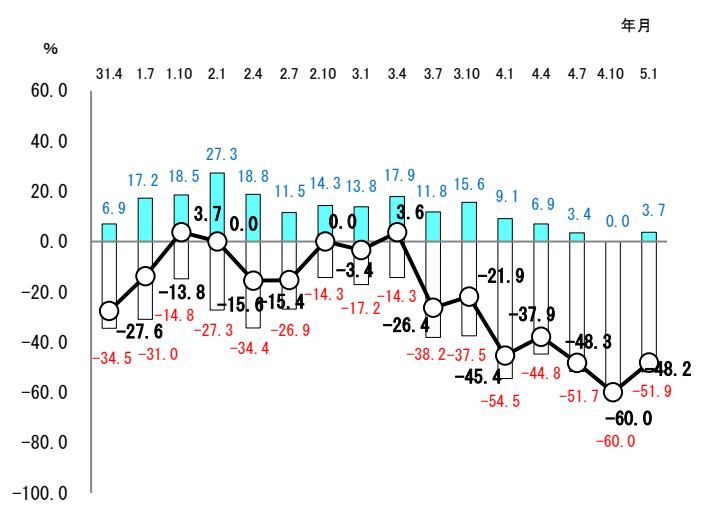
販売価格



資金繰り

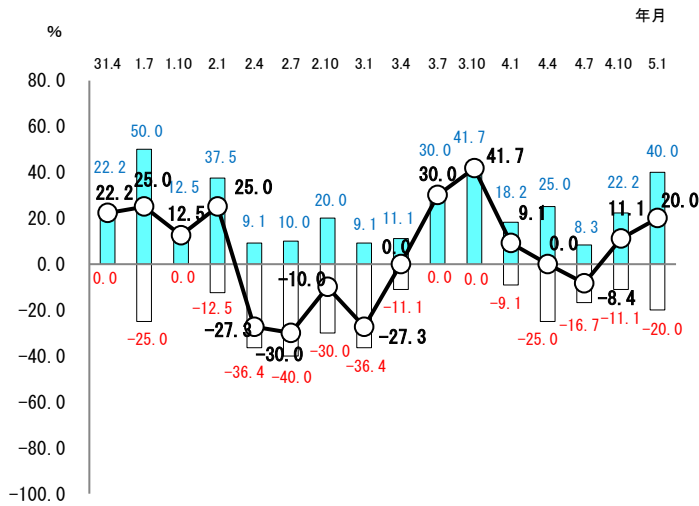


収益率

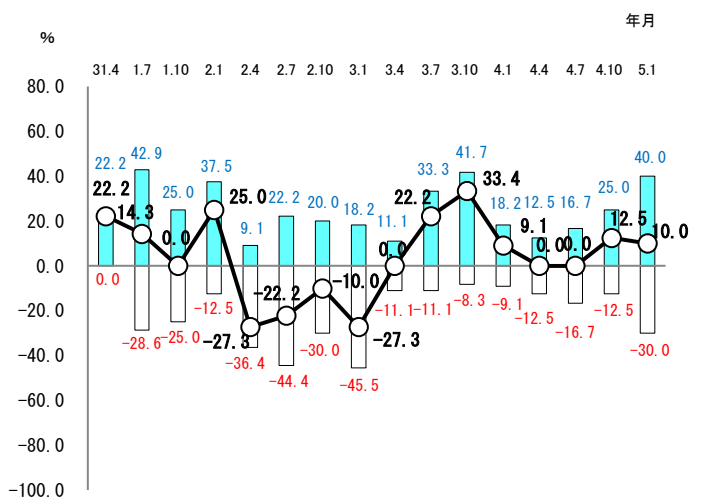


イ 情報サービス業

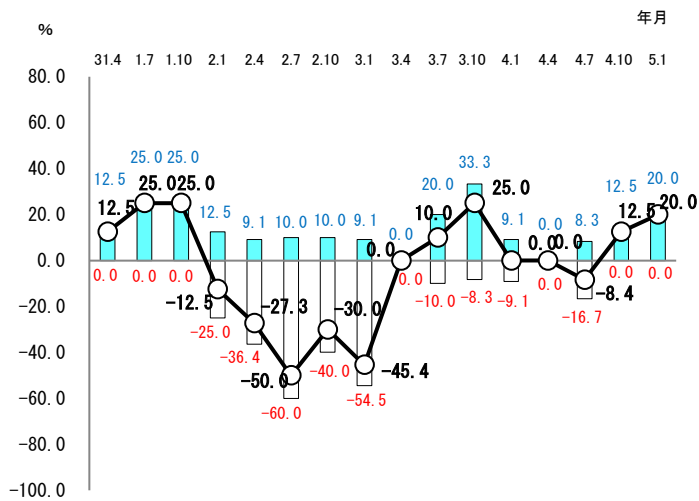
業況



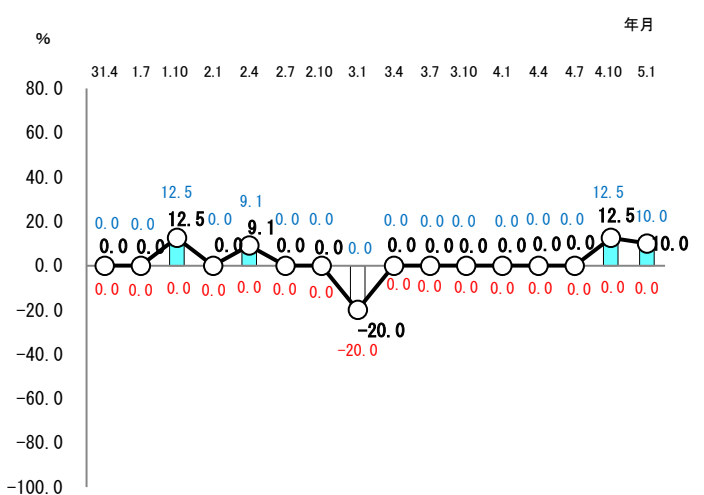
売上高



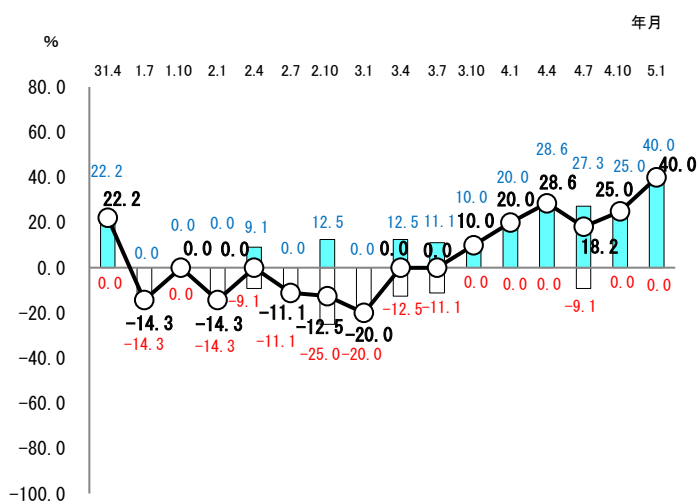
客数 (受案件数)



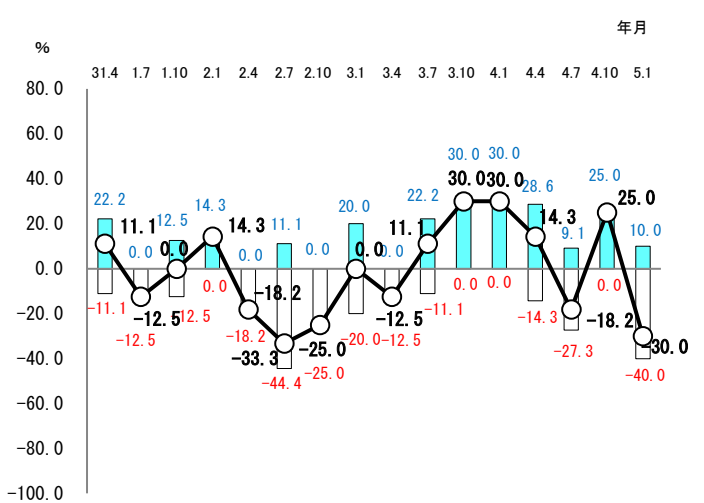
販売価格



資金繰り

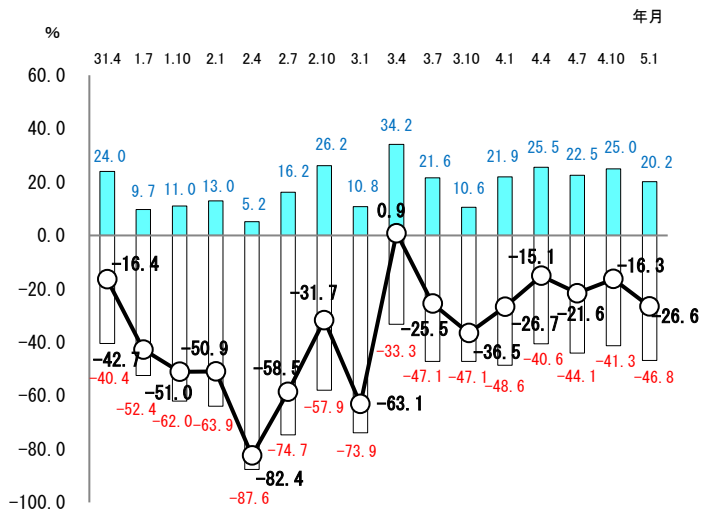


収益率

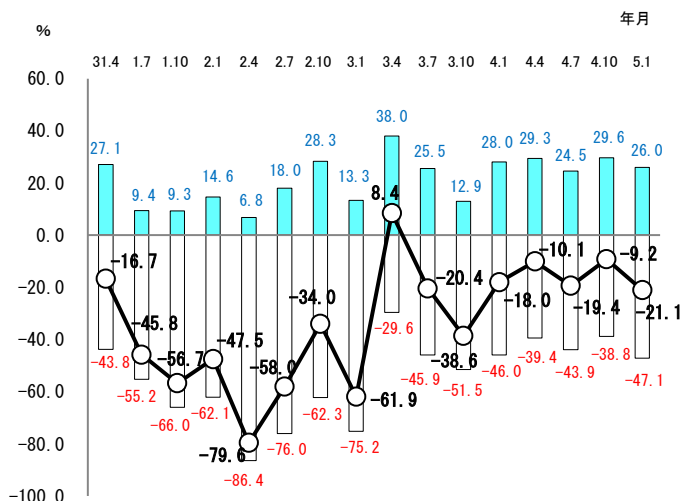


ウ 小売業

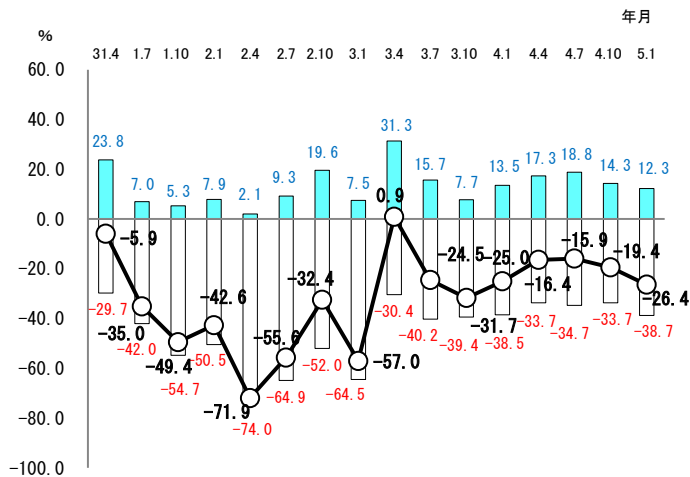
業況



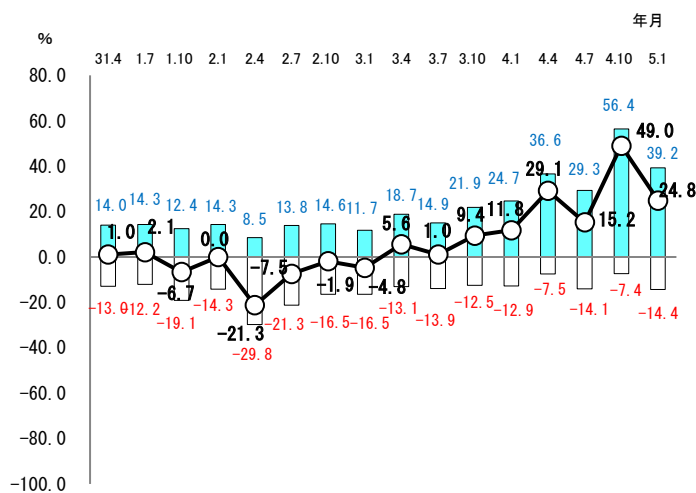
売上高



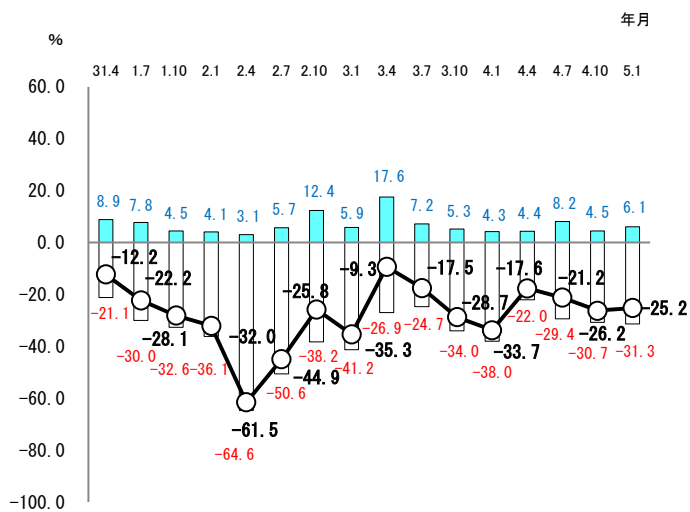
客数



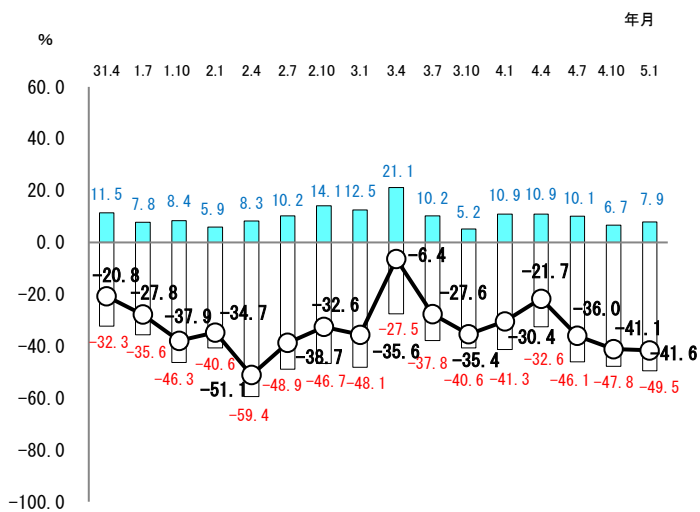
販売価格



資金繰り

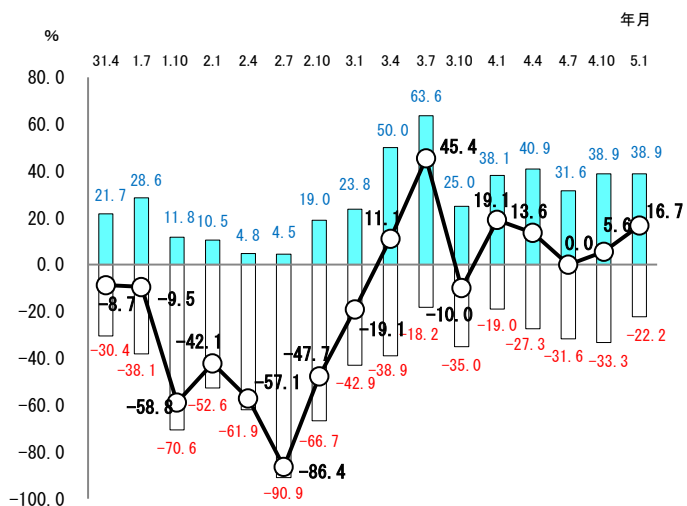


収益率

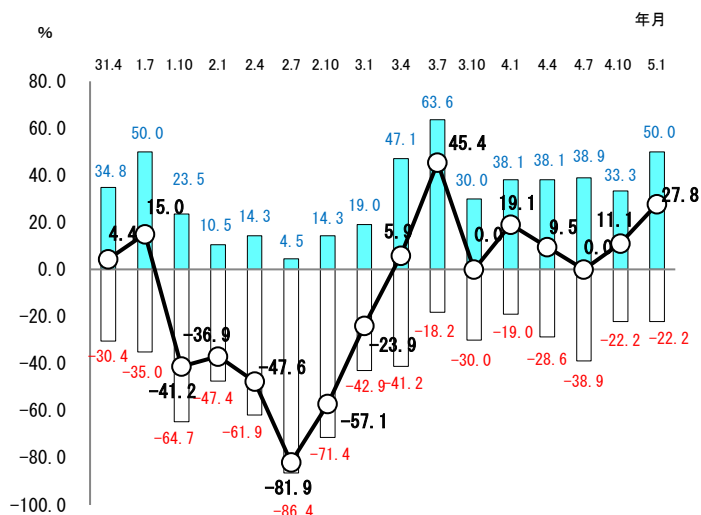


工 卸売業

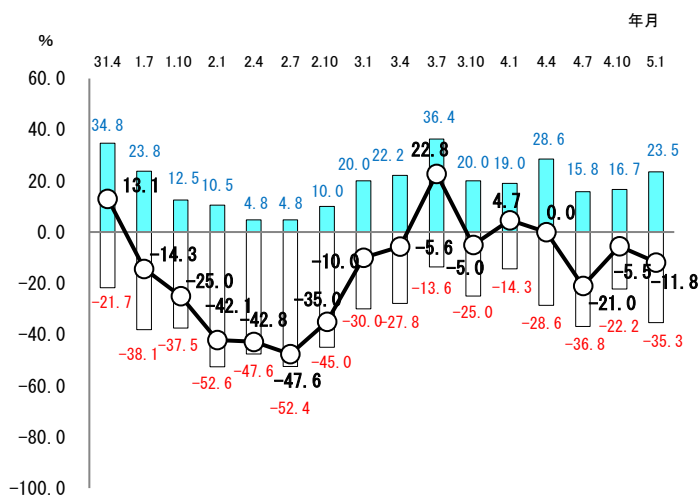
業況



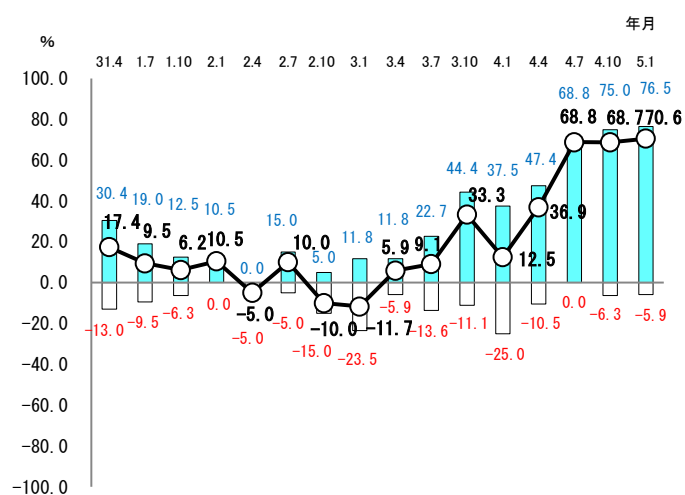
売上高



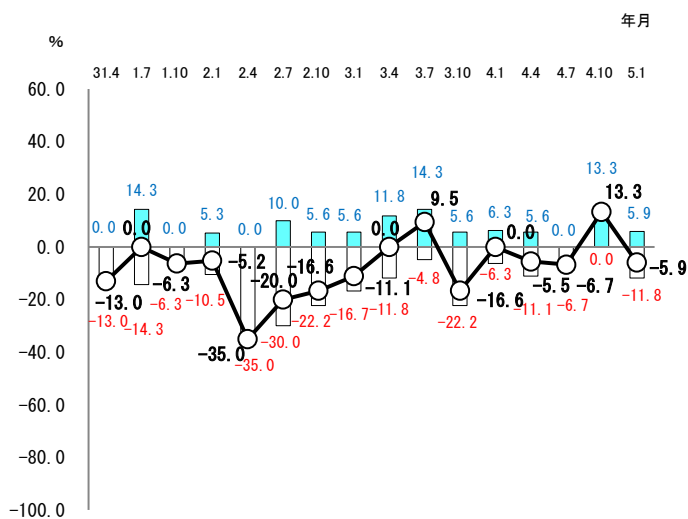
客数 (取引先数)



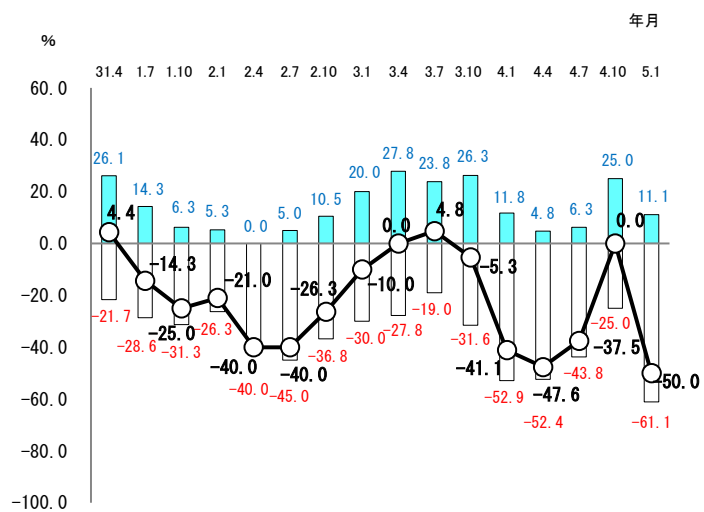
販売価格



資金繰り

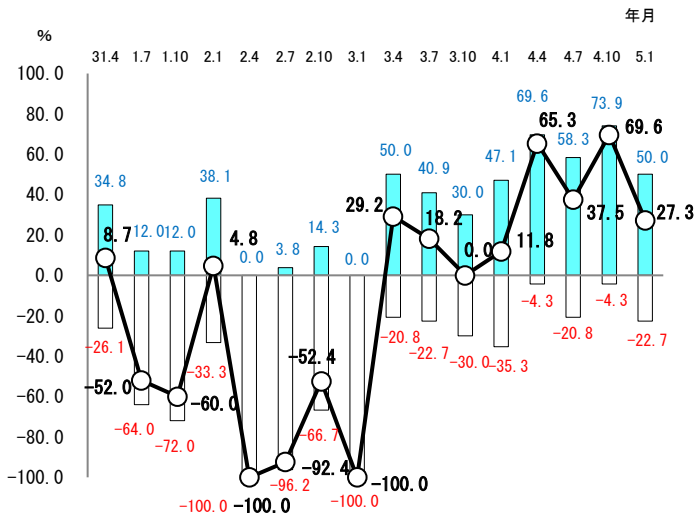


収益率

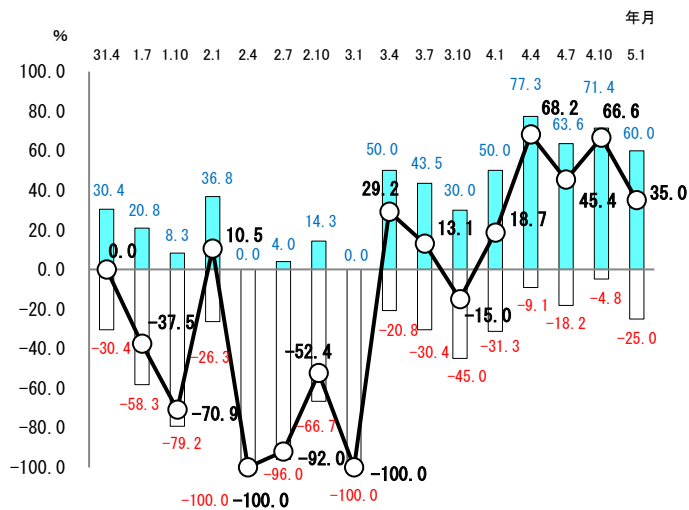


才 飲食業

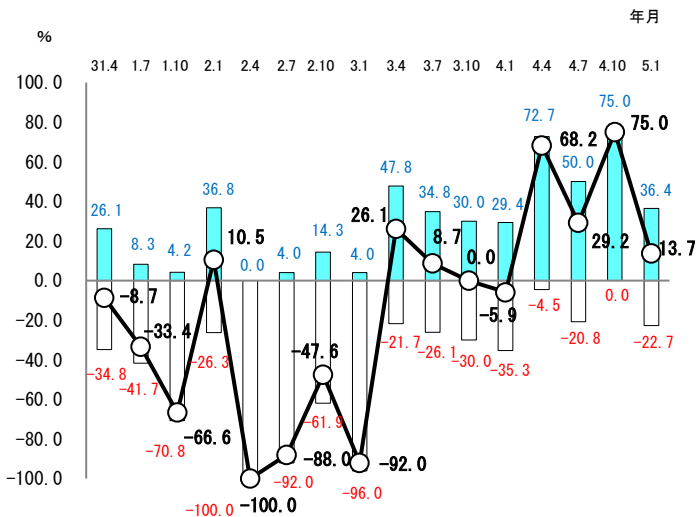
業況



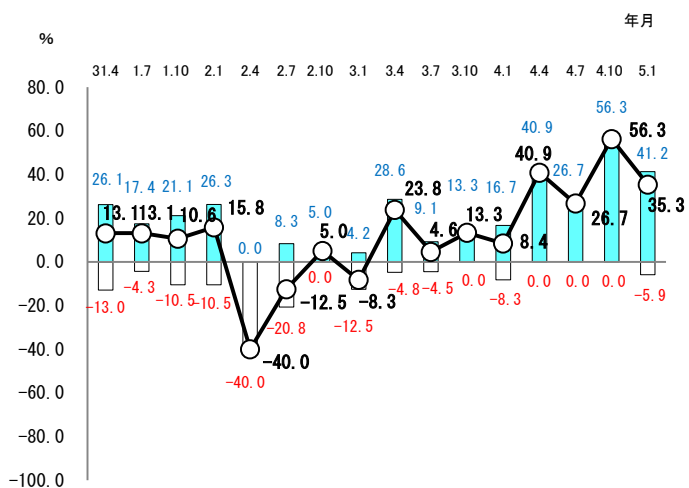
売上高



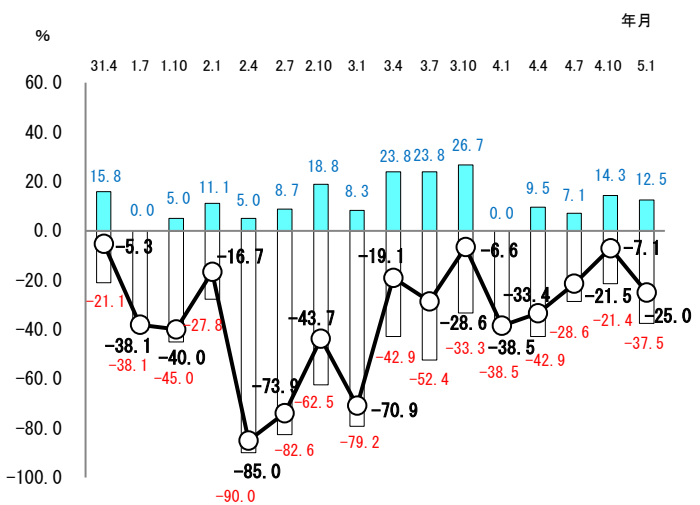
客数



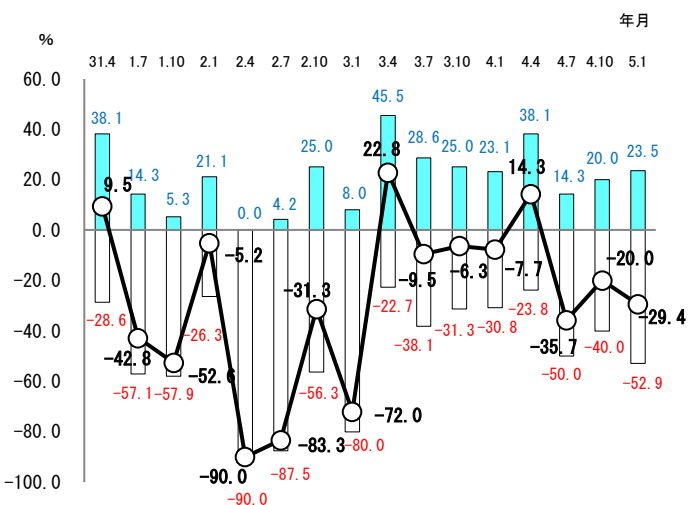
販売価格



資金繰り

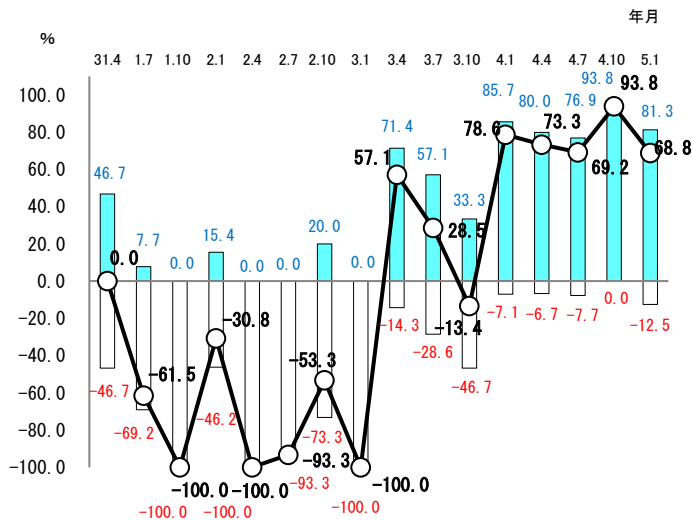


収益率

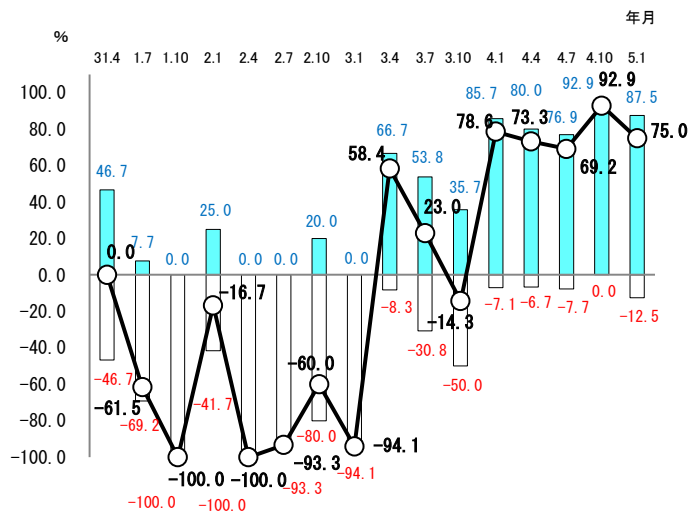


力 宿泊業

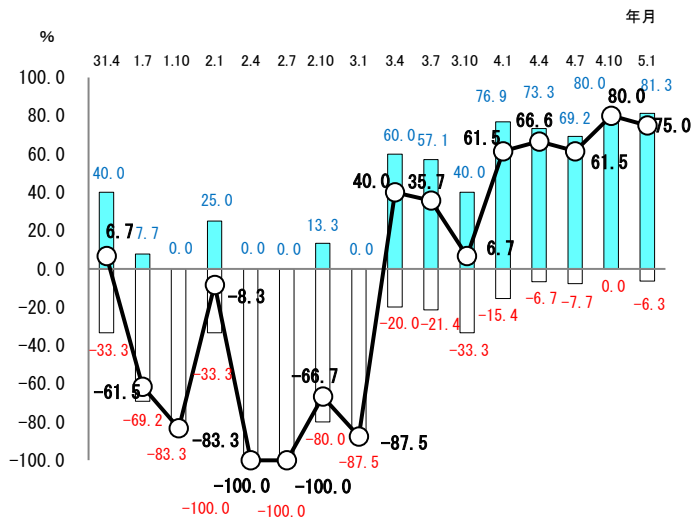
業況



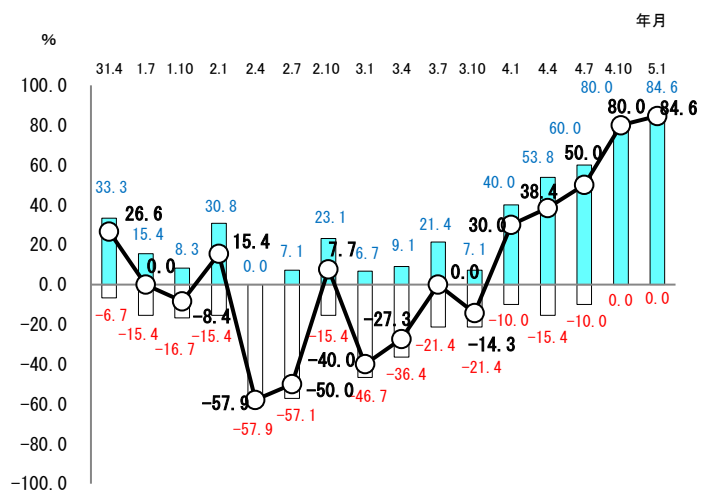
売上高



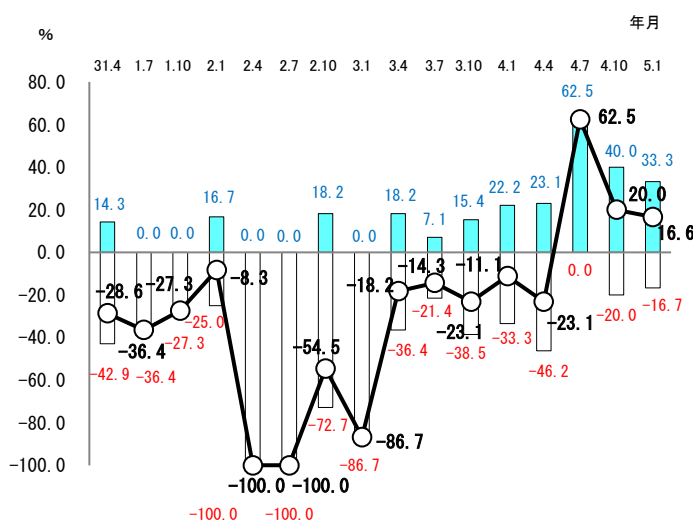
客数



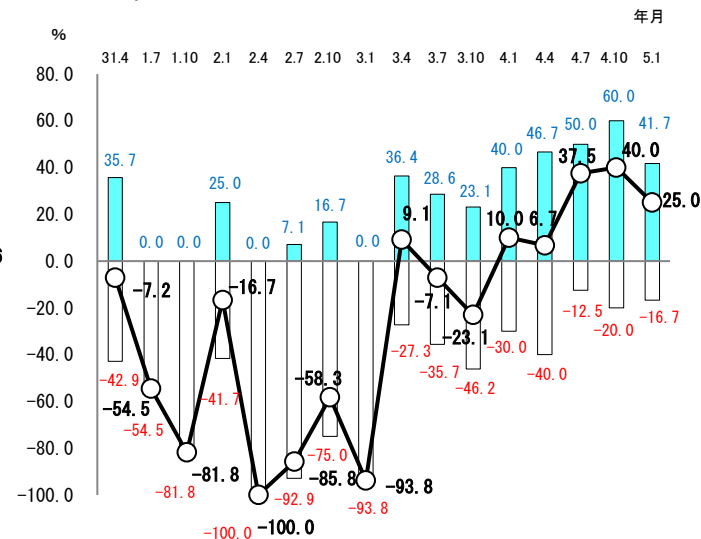
販売価格



資金繰り

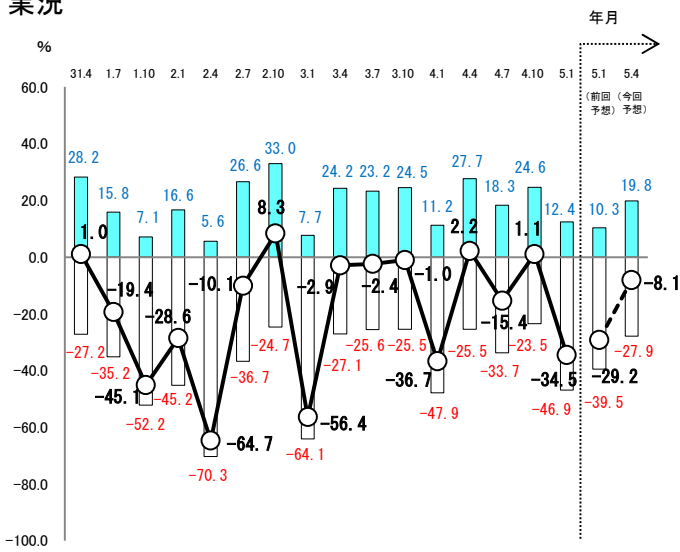


収益率

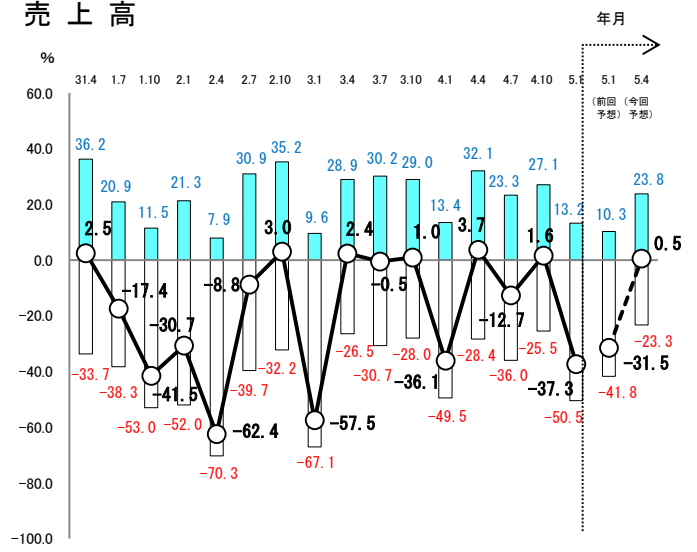


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想
非製造業全体

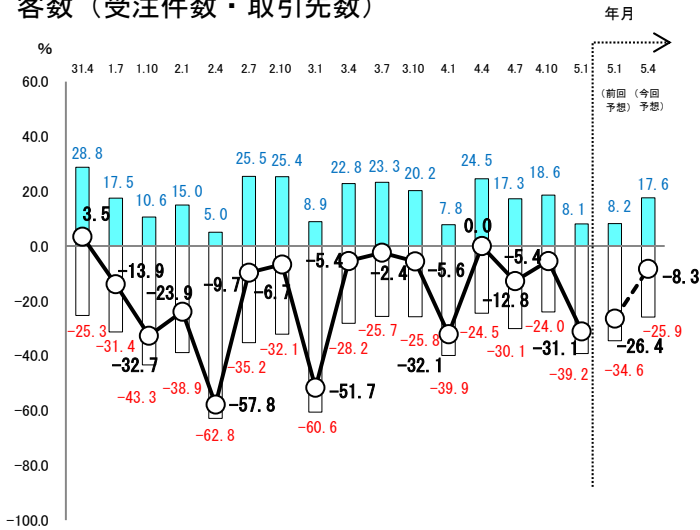
業況



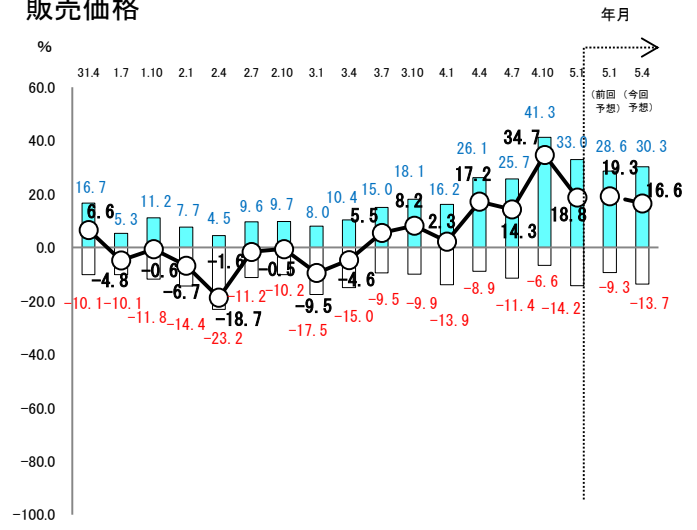
売上高



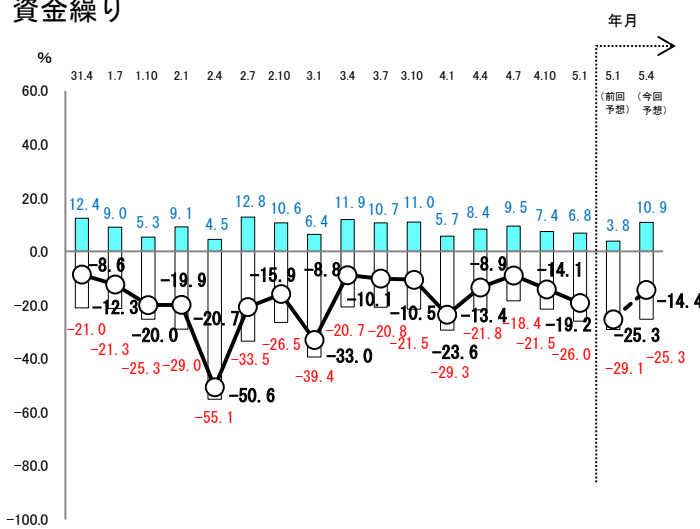
客数 (受注件数・取引先数)



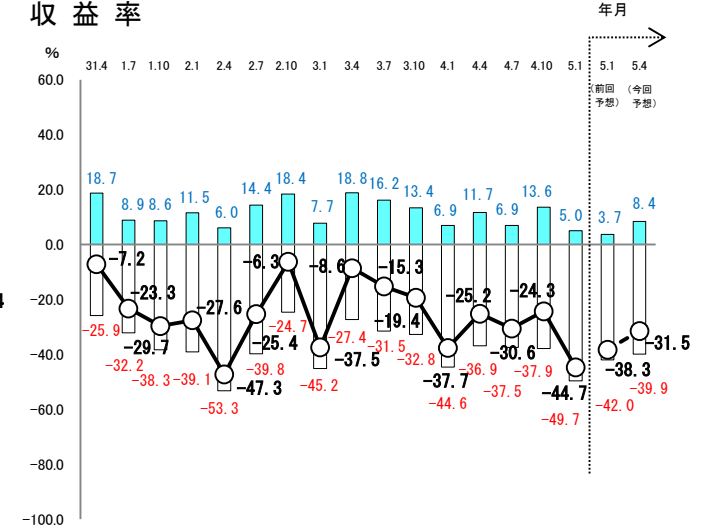
販売価格



資金繰り

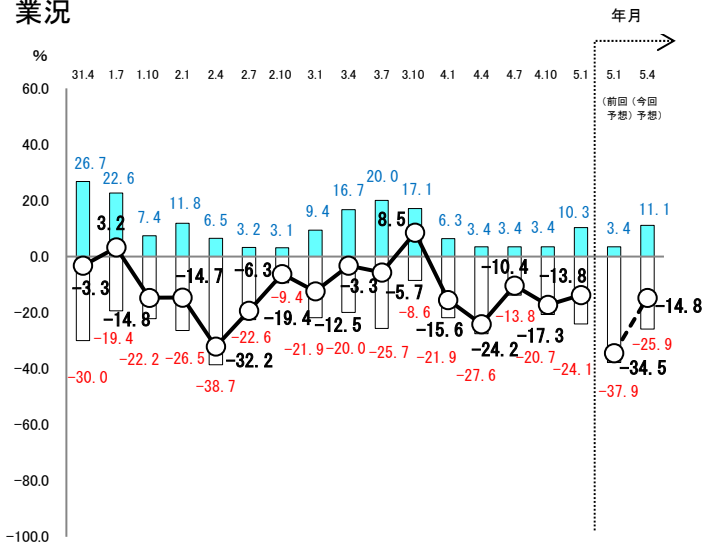


収益率

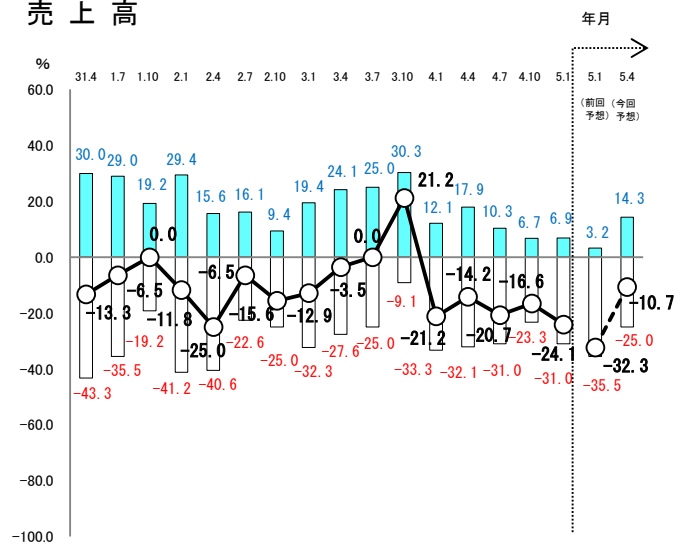


ア 建設業

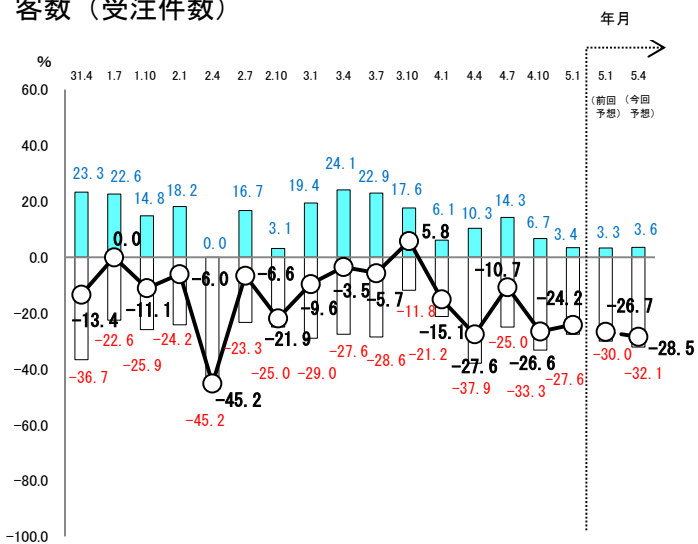
業況



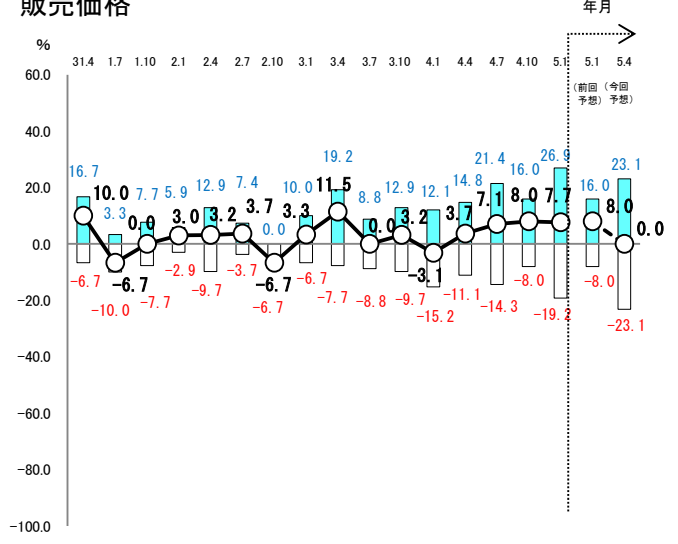
売上高



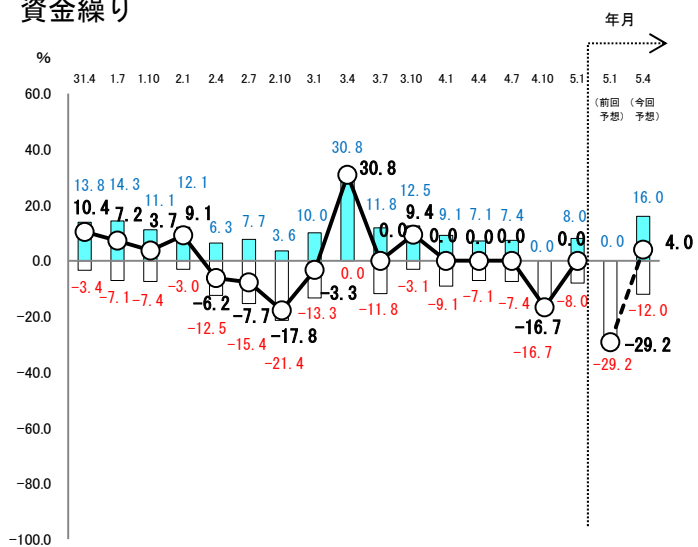
客数 (受注件数)



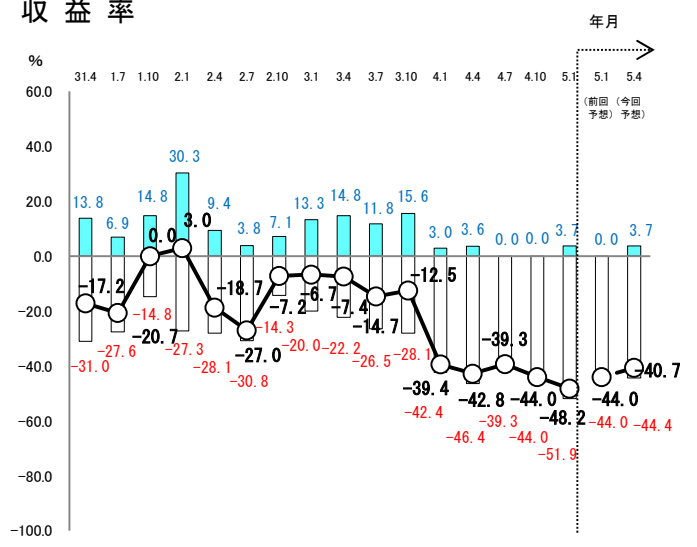
販売価格



資金繰り

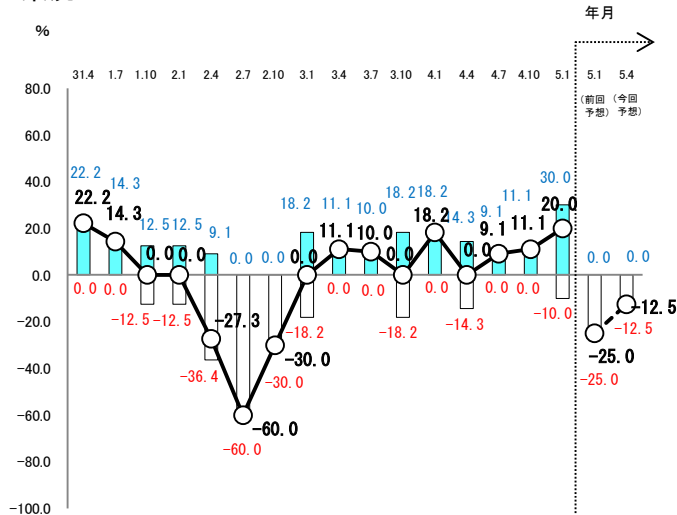


収益率

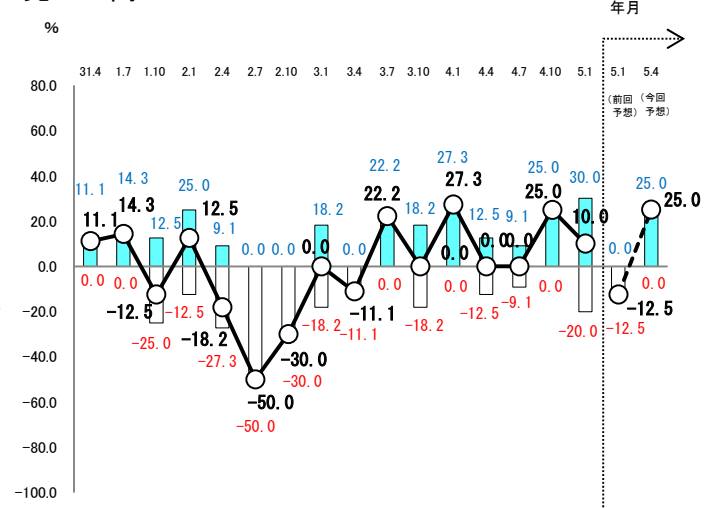


イ 情報サービス業

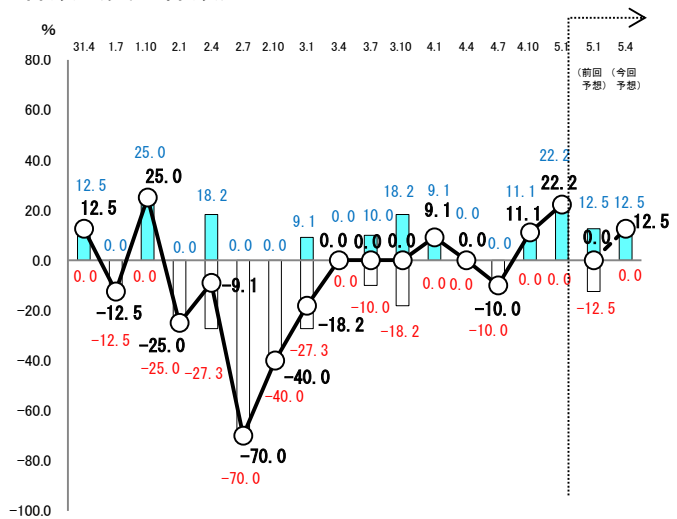
業況



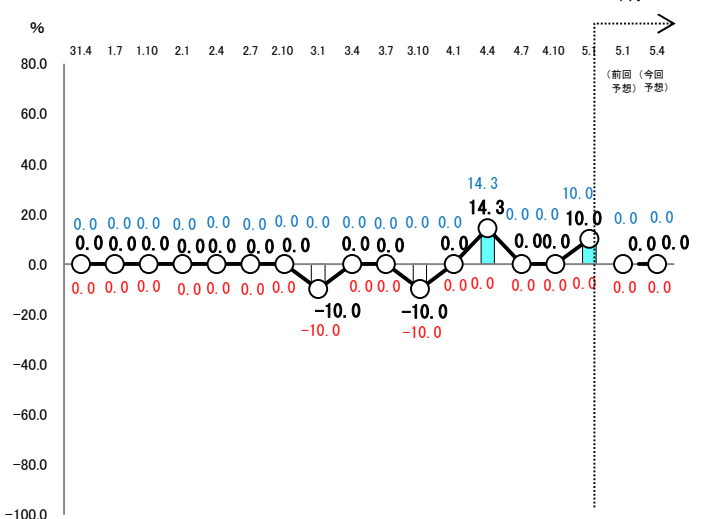
売上高



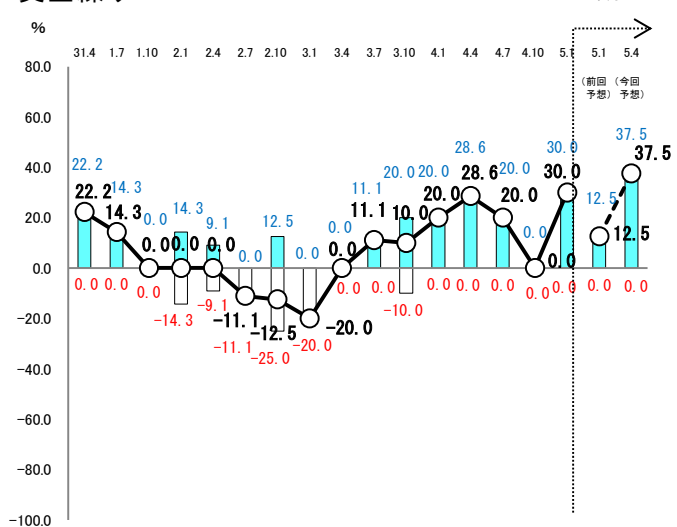
客数 (受注件数)



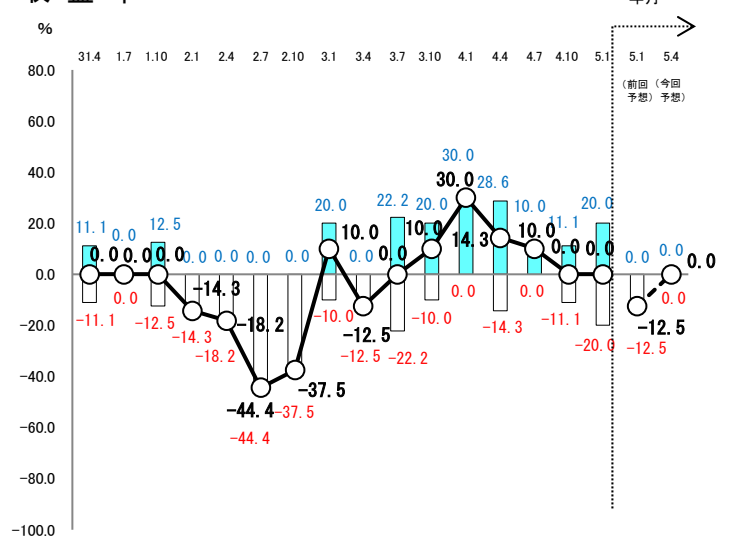
販売価格



資金繰り

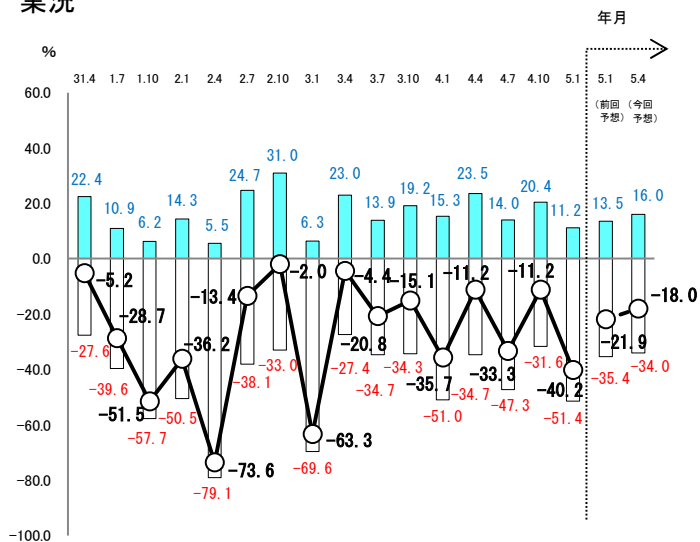


収益率

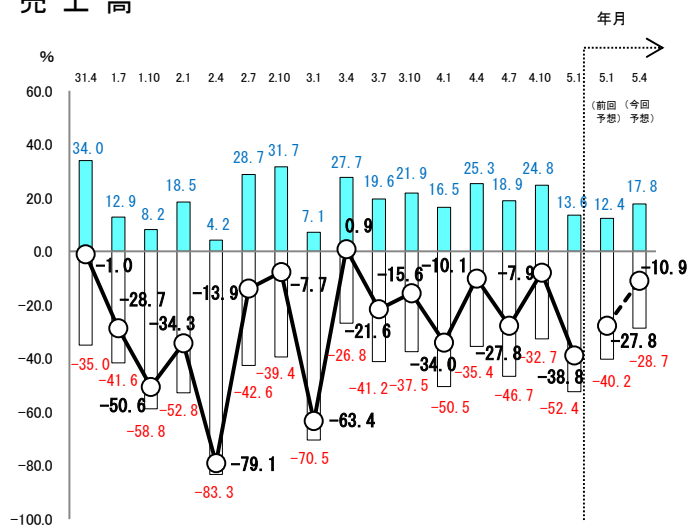


ウ 小売業

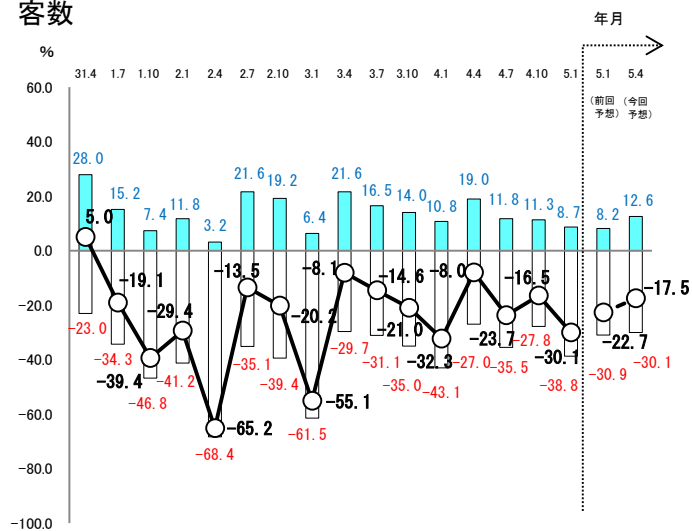
業況



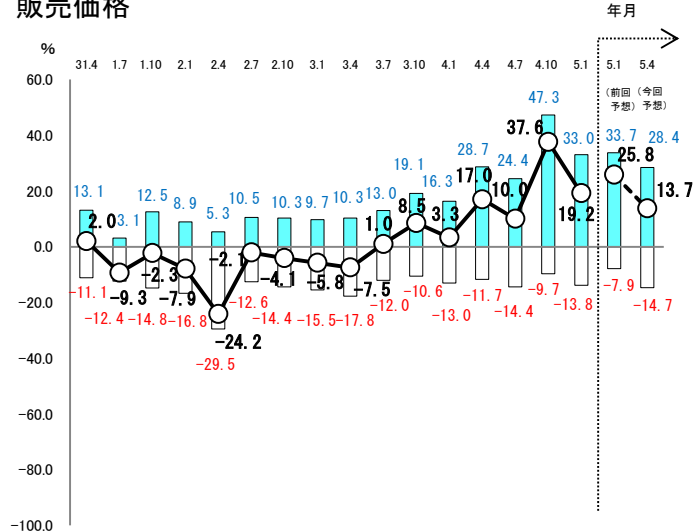
売上高



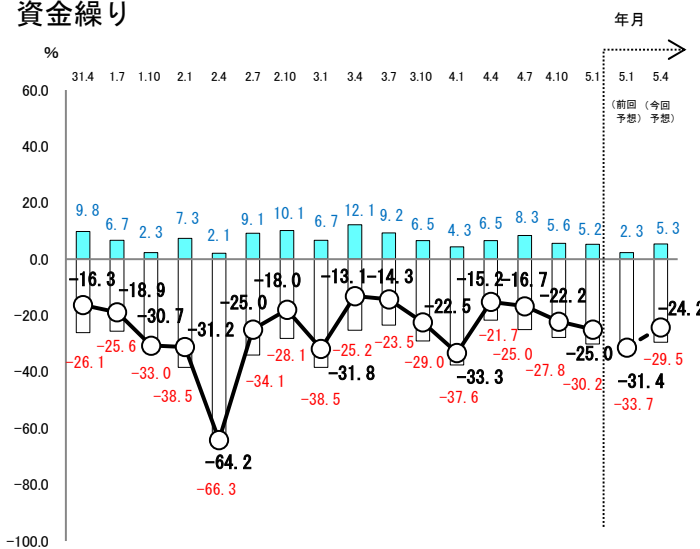
客数



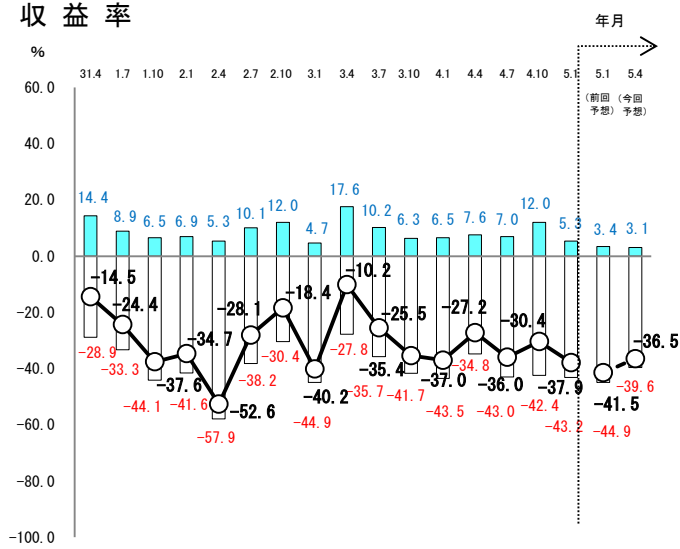
販売価格



資金繰り

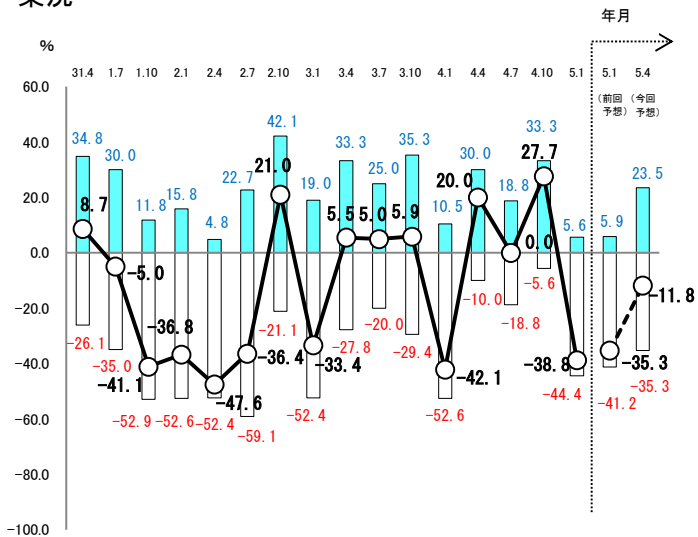


収益率

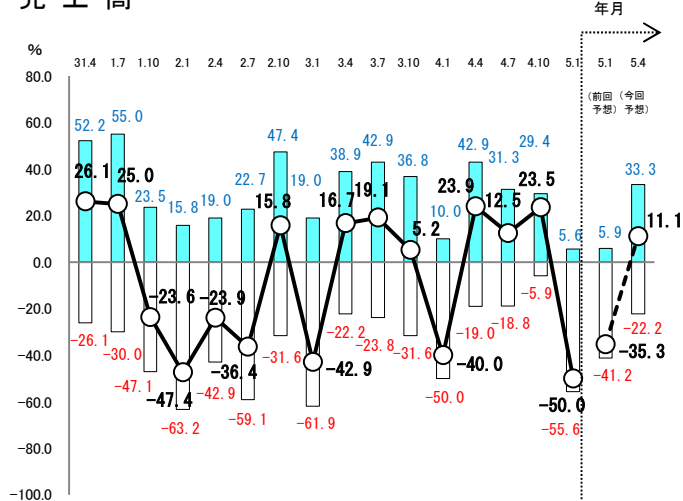


工 卸売業

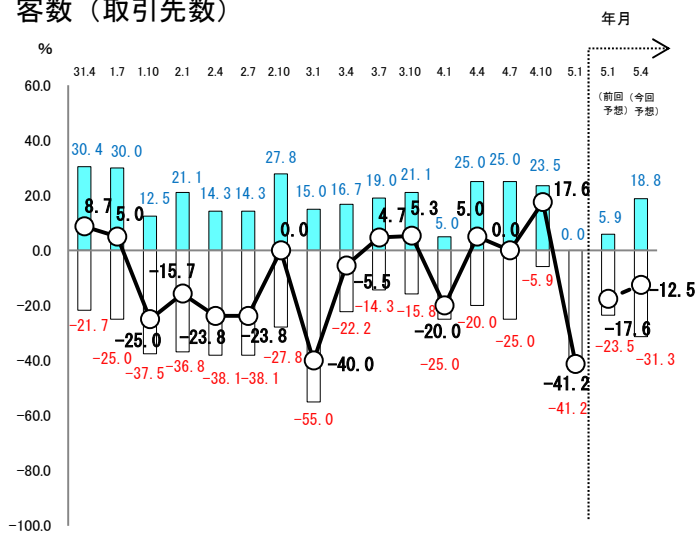
業況



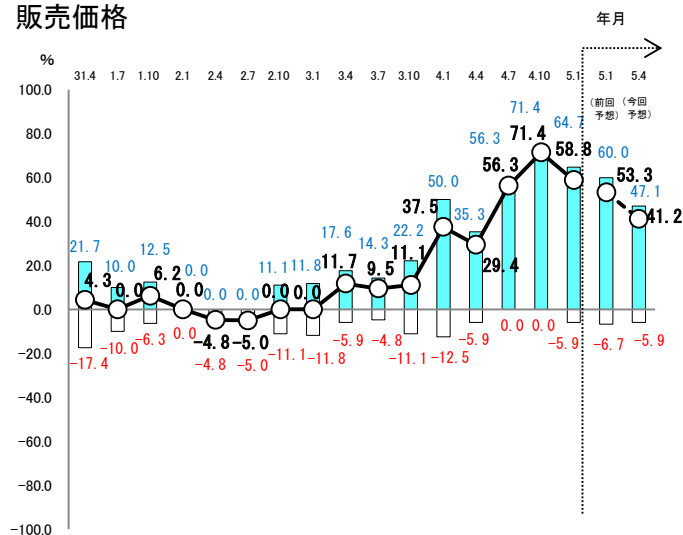
売上高



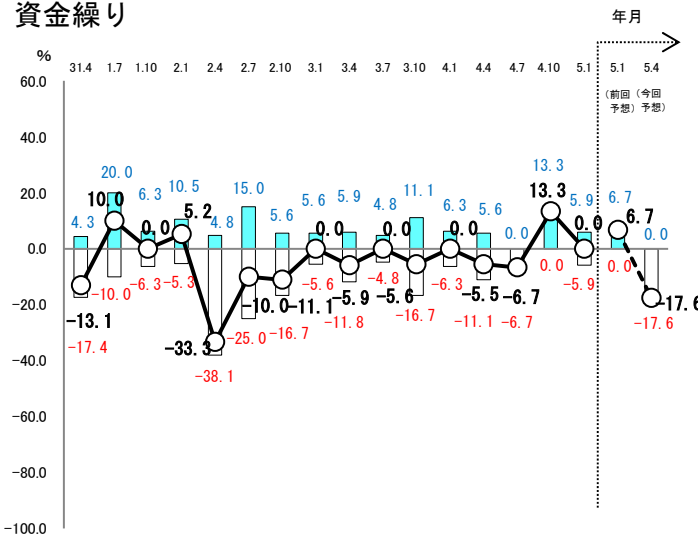
客数 (取引先数)



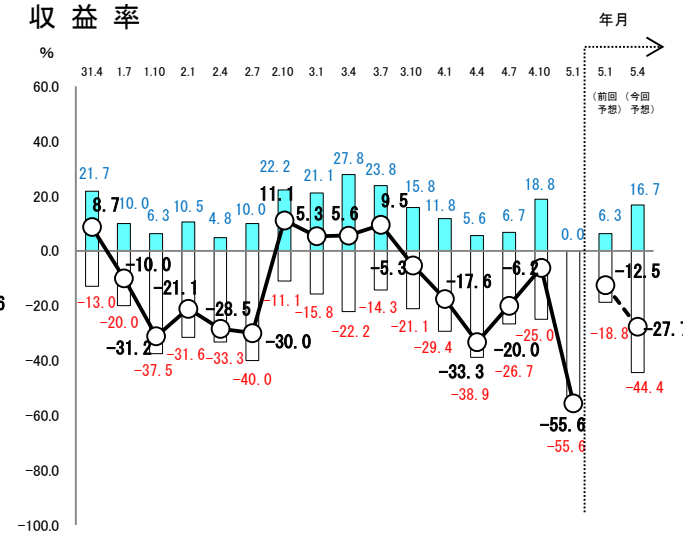
販売価格



資金繰り

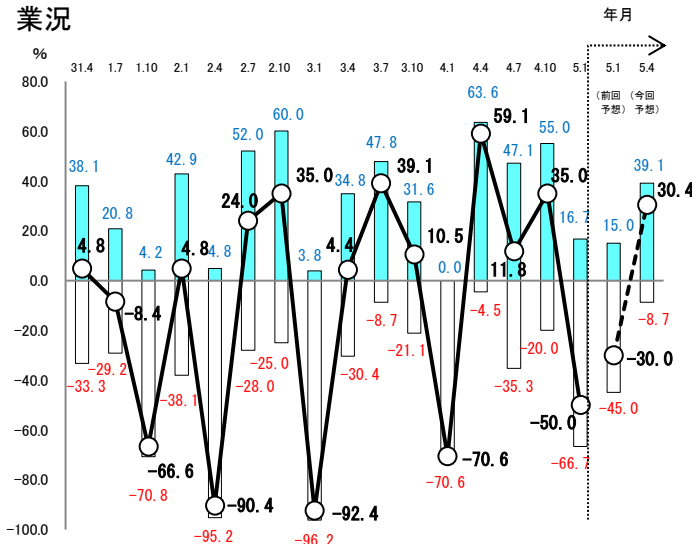


収益率

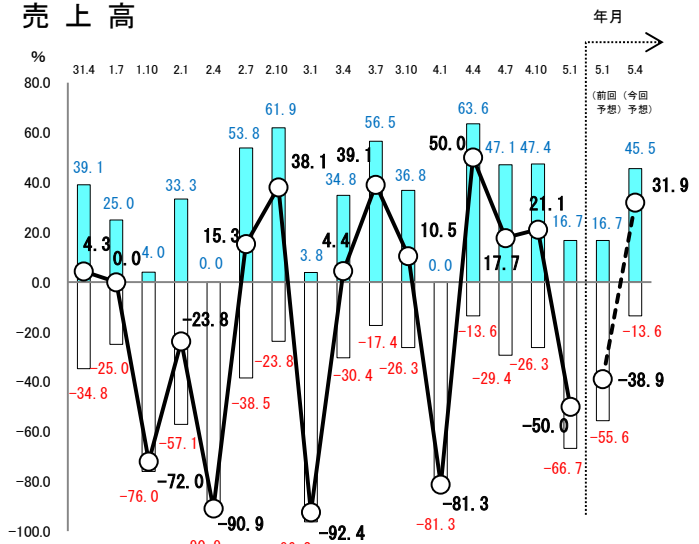


才 飲食業

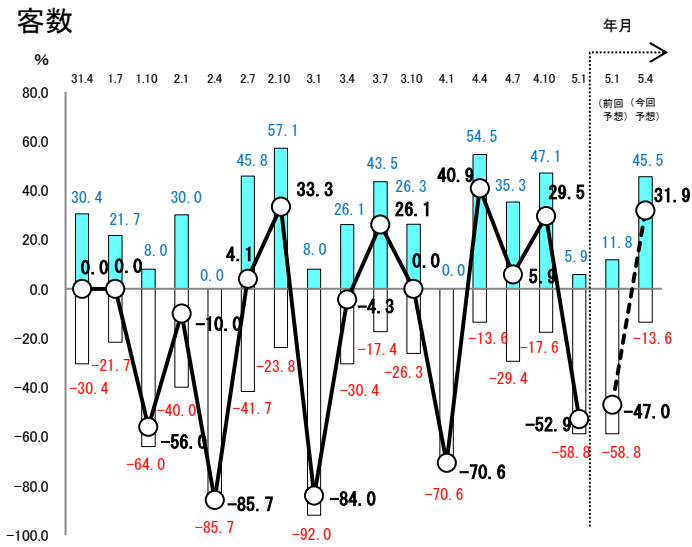
業況



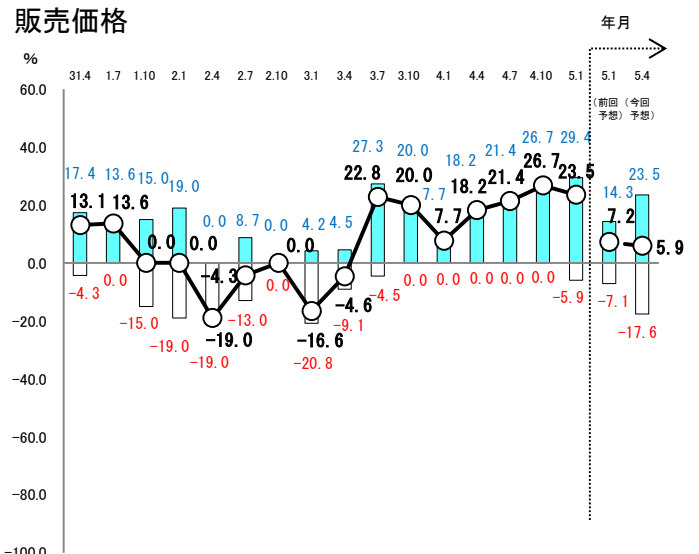
売上高



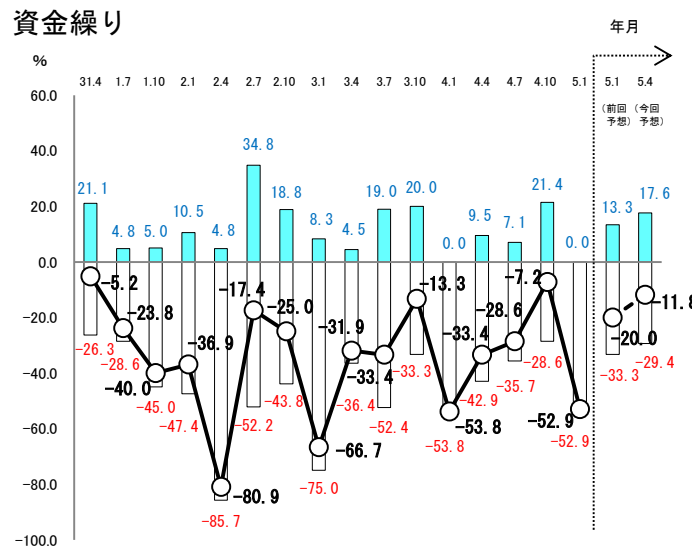
客数



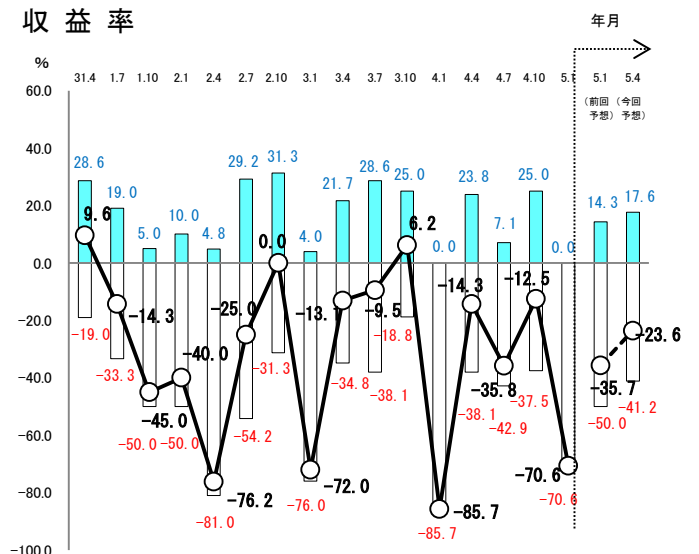
販売価格



資金繰り

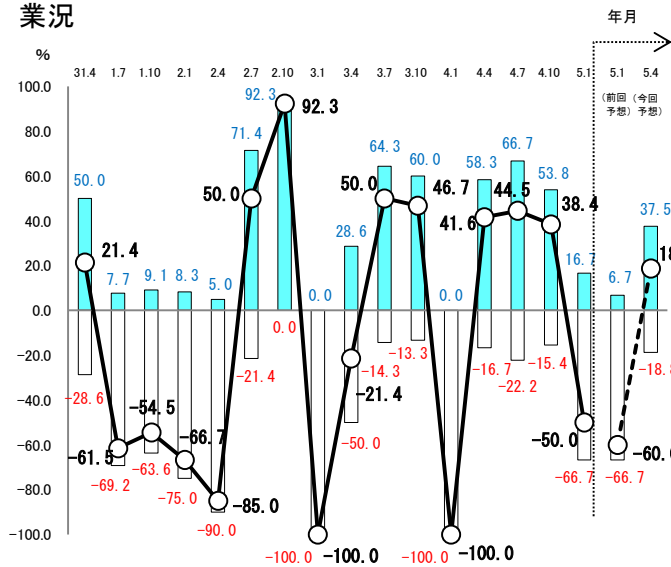


収益率

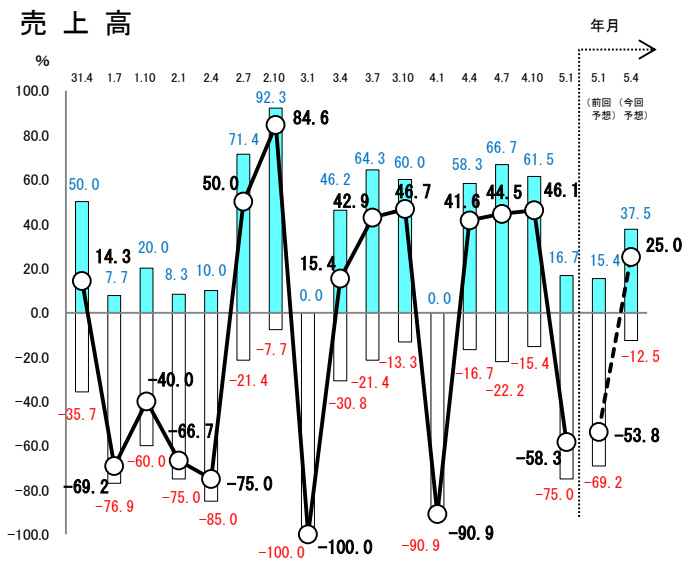


力 宿泊業

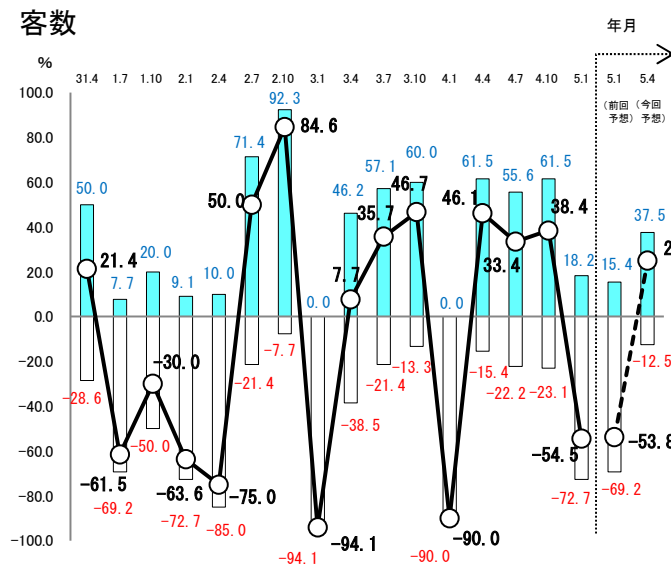
業況



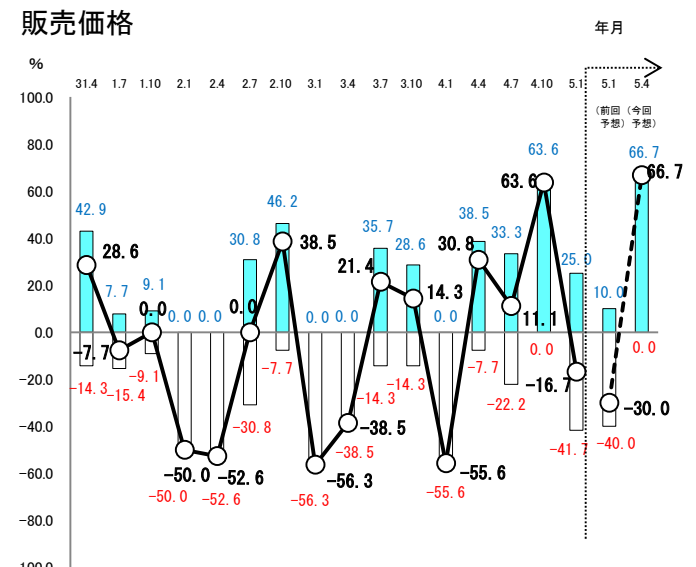
売上高



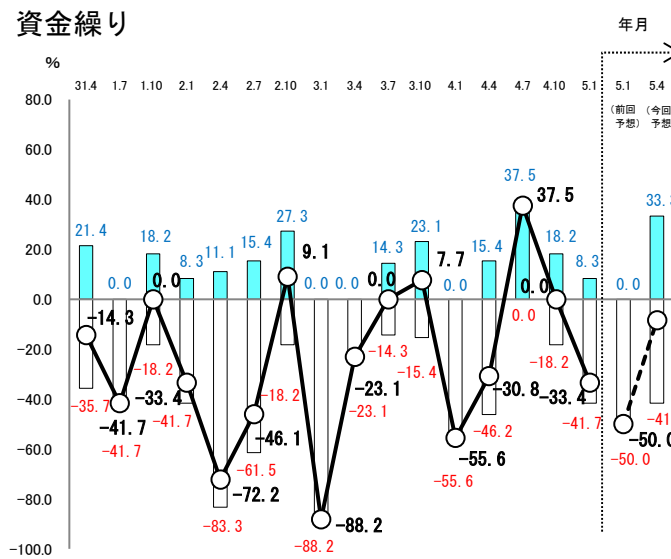
客数



販売価格



資金繰り



収益率

